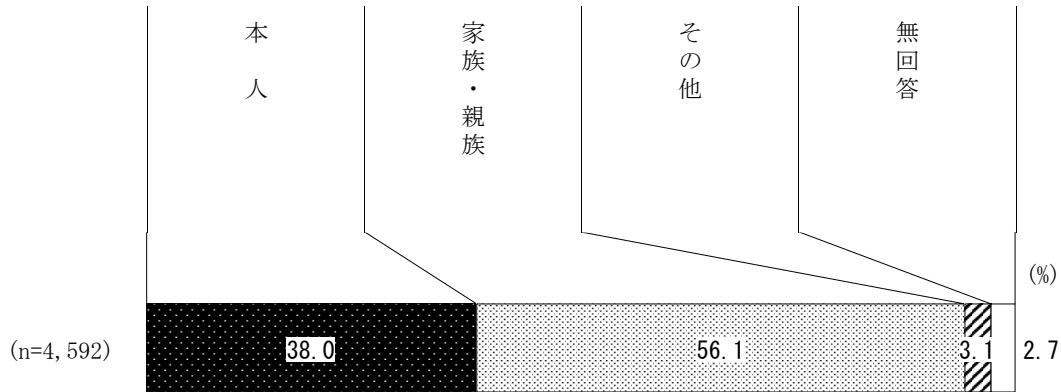


## **Ⅱ-2 介護保険要介護(要支援) 認定者調査結果**



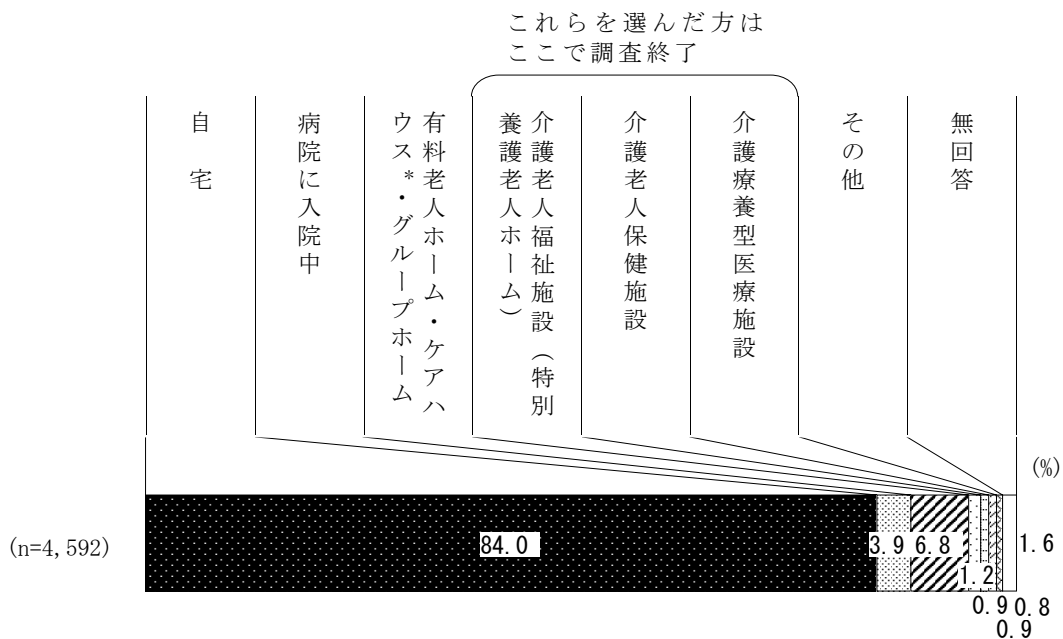
◆調査票記入者と本人の生活場所

調査票記入者



調査票の記入者は「家族・親族」が56.1%で最も多く、これに「本人」（38.0%）が次いでいる。

主な生活場所

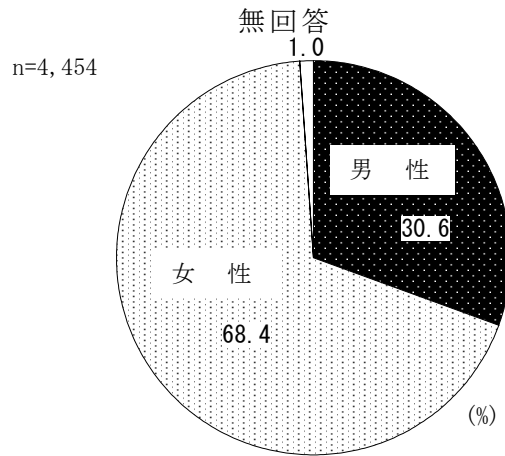


\*ケアハウスとは、60歳以上で身体、家族、住宅の事情により居宅で生活することが困難な方のための施設

現在の生活場所としては「自宅」が84.0%と圧倒的に多くなっている。

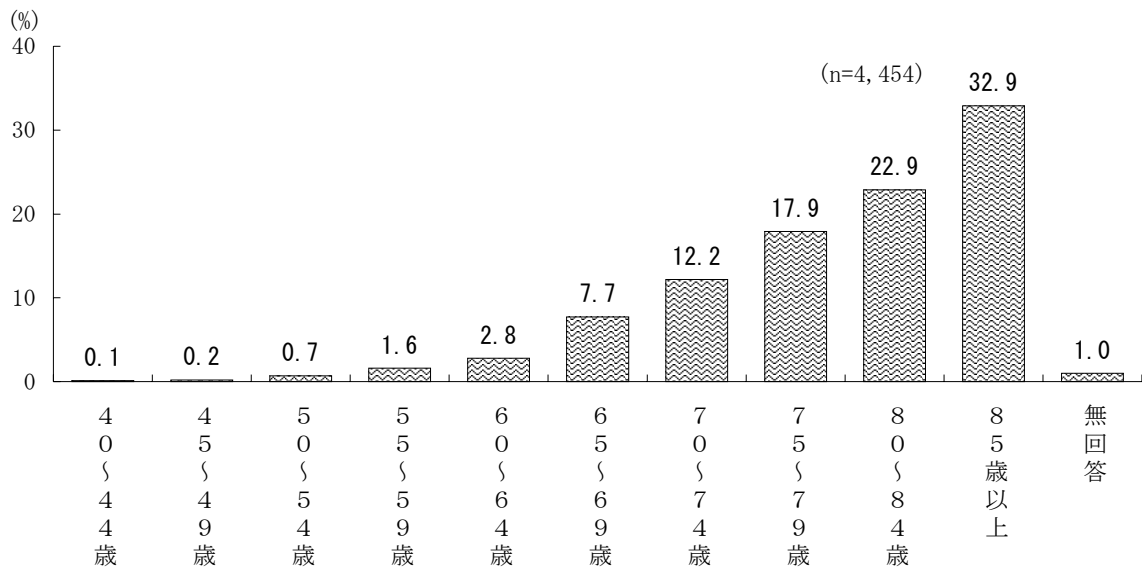
◆対象者の属性

問1 性別



性別は、男性が30.6%、女性が68.4%と、女性が3人に2人を占めている。

問2 年齢



年齢は、「85歳以上」が32.9%と最も多く、以下「80～84歳」が22.9%、「75～79歳」が17.9%と75歳以上の後期高齢者が7割以上を占める。

年齢別の状況（性別）

上段：実数(人)  
下段：構成比(%)

	調査数	男性	女性	無回答
40～44歳	5	1	4	-
	100	(20.0)	(80.0)	-
45～49歳	9	4	5	-
	100	(44.4)	(55.6)	-
50～54歳	31	13	18	-
	100	(41.9)	(58.1)	-
55～59歳	71	34	37	-
	100	(47.9)	(52.1)	-
60～64歳	125	54	68	3
	100	(43.2)	(54.4)	(2.4)
65～69歳	343	146	196	1
	100	(42.6)	(57.1)	(0.3)
70～74歳	543	236	305	2
	100	(43.5)	(56.2)	(0.4)
75～79歳	797	261	534	2
	100	(32.7)	(67.0)	(0.3)
80～84歳	1,018	273	743	2
	100	(26.8)	(73.0)	(0.2)
85歳以上	1,466	338	1127	1
	100	(23.1)	(76.9)	(0.1)

年齢を性別で見ると、いずれの年齢でも女性が男性より多くなっている。特に75歳以上の後期高齢者では、女性が6割以上を占めている。

### 問3 居住地域

	調査数	馬橋地区	五香六実地区	小金原地区	常盤平地区	東部地区	小金地区	新松戸地区	矢切地区	明第1地区	本庁地区	馬橋西地区	明第2東地区	明第2西地区	無回答
実数(人)	4,454	386	525	334	742	301	366	223	196	458	236	178	183	247	79
構成比(%)	100.0	8.7	11.8	7.5	16.7	6.8	8.2	5.0	4.4	10.3	5.3	4.0	4.1	5.5	1.8

居住地域は、常盤平地区が742人（16.7%）、五香六実地区が525人（11.8%）、明第1地区が458人（10.3%）で1割を超える。

馬橋地区	馬橋、中根、新作、三ヶ月、幸谷、中根長津町、中和倉、八ヶ崎、八ヶ崎緑町
五香六実地区	五香六実、串崎新田、高柳新田、松飛台、高柳、串崎南町、六高台、六実、五香、五香南、五香西
小金原地区	栗ヶ沢、小金原、根木内
常盤平地区	常盤平1～7丁目、常盤平西窪町、常盤平双葉町、常盤平柳町、常盤平陣屋前、常盤平松葉町、金ヶ作、日暮、千駄堀、牧の原
東部地区	二十世紀が丘中松町、二十世紀が丘丸山町、二十世紀が丘戸山町、二十世紀が丘梨元町、紙敷、和名ヶ谷、大橋、秋山、高塚新田、河原塚、田中新田
小金地区	小金、小金清志町、小金きよしヶ丘、上総内、二ツ木、大谷口、平賀、殿平賀、東平賀、久保平賀、小金上総町、中金杉、幸田、二ツ木二葉町、大金平
新松戸地区	横須賀、新松戸北、新松戸、新松戸東
矢切地区	二十世紀が丘柿の木町、二十世紀が丘萩町、上矢切、中矢切、下矢切、栗山、三矢小台
明第1地区	松戸新田、仲井町、稔台、岩瀬、胡録台、小根本、吉井町、根本、野菊野、岩瀬無番地、縁ヶ丘、胡録台無番地
本庁地区	松戸、小山、本町、二十世紀が丘美野里町
馬橋西地区	七右衛門新田、主水新田、外河原、西馬橋蔵元町、西馬橋幸町、西馬橋広手町、西馬橋相川町、旭町、西馬橋、新松戸南
明第2東地区	上本郷、北松戸、南花島（中・向町）、竹ヶ花、竹ヶ花西町
明第2西地区	樋野口、古ヶ崎、栄町、栄町西

※居住地域の地区割は、松戸市社会福祉協議会の地区割を参考としたが、字名で分類したため、実際の地区割とは一致しない。

## 地域別の状況（男女）

上段：実数(人)  
下段：構成比(%)

	調査数	男性	女性	無回答
全 体	4,454	1,363	3,048	43
	100.0	(30.6)	(68.4)	(1.0)
馬橋地区	386	128	255	3
	100.0	(33.2)	(66.1)	(0.8)
五香六実地区	525	181	342	2
	100.0	(34.5)	(65.1)	(0.4)
小金原地区	334	99	235	-
	100.0	(29.6)	(70.4)	-
常盤平地区	742	229	511	2
	100.0	(30.9)	(68.9)	(0.3)
東部地区	301	87	211	3
	100.0	(28.9)	(70.1)	(1.0)
小金地区	366	97	268	1
	100.0	(26.5)	(73.2)	(0.3)
新松戸地区	223	68	154	1
	100.0	(30.5)	(69.1)	(0.4)
矢切地区	196	56	140	-
	100.0	(28.6)	(71.4)	-
明第1地区	458	142	314	2
	100.0	(31.0)	(68.6)	(0.4)
本庁地区	236	69	167	-
	100.0	(29.2)	(70.8)	-
馬橋西地区	178	54	124	-
	100.0	(30.3)	(69.7)	-
明第2東地区	183	57	126	-
	100.0	(31.1)	(68.9)	-
明第2西地区	247	84	163	-
	100.0	(34.0)	(66.0)	-

居住地域ごとの性別をみると、いずれの地区でも女性が6割以上を占めている。

地域別の状況（年齢階層）

上段：実数(人)  
下段：構成比(%)

	調査数	40 ～ 44 歳	45 ～ 49 歳	50 ～ 54 歳	55 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 ～ 74 歳	75 ～ 79 歳	80 ～ 84 歳	85 歳 以上	無 回 答
全 体	4,454	5	9	31	71	125	343	543	797	1,018	1,466	46
	100.0	(0.1)	(0.2)	(0.7)	(1.6)	(2.8)	(7.7)	(12.2)	(17.9)	(22.9)	(32.9)	(1.0)
馬橋地区	386	-	2	1	4	13	39	48	59	84	135	1
	100.0	-	(0.5)	(0.3)	(1.0)	(3.4)	(10.1)	(12.4)	(15.3)	(21.8)	(35.0)	(0.3)
五香六実地区	525	-	-	4	9	17	46	66	109	109	165	-
	100.0	-	-	(0.8)	(1.7)	(3.2)	(8.8)	(12.6)	(20.8)	(20.8)	(31.4)	-
小金原地区	334	1	1	3	4	7	38	38	62	77	103	-
	100.0	(0.3)	(0.3)	(0.9)	(1.2)	(2.1)	(11.4)	(11.4)	(18.6)	(23.1)	(30.8)	-
常盤平地区	742	-	1	7	9	20	46	99	150	184	224	2
	100.0	-	(0.1)	(0.9)	(1.2)	(2.7)	(6.2)	(13.3)	(20.2)	(24.8)	(30.2)	(0.3)
東部地区	301	3	2	1	2	10	19	38	44	68	112	2
	100.0	(1.0)	(0.7)	(0.3)	(0.7)	(3.3)	(6.3)	(12.6)	(14.6)	(22.6)	(37.2)	(0.7)
小金地区	366	-	-	3	9	10	24	43	66	80	128	3
	100.0	-	-	(0.8)	(2.5)	(2.7)	(6.6)	(11.7)	(18.0)	(21.9)	(35.0)	(0.8)
新松戸地区	223	-	2	2	5	11	16	24	43	58	61	1
	100.0	-	(0.9)	(0.9)	(2.2)	(4.9)	(7.2)	(10.8)	(19.3)	(26.0)	(27.4)	(0.4)
矢切地区	196	-	-	1	3	3	7	21	41	46	72	2
	100.0	-	-	(0.5)	(1.5)	(1.5)	(3.6)	(10.7)	(20.9)	(23.5)	(36.7)	(1.0)
明第1地区	458	-	-	-	7	11	43	65	69	95	168	-
	100.0	-	-	-	(1.5)	(2.4)	(9.4)	(14.2)	(15.1)	(20.7)	(36.7)	-
本庁地区	236	-	-	-	5	6	17	29	36	57	84	2
	100.0	-	-	-	(2.1)	(2.5)	(7.2)	(12.3)	(15.3)	(24.2)	(35.6)	(0.8)
馬橋西地区	178	-	-	2	3	6	18	13	29	39	67	1
	100.0	-	-	(1.1)	(1.7)	(3.4)	(10.1)	(7.3)	(16.3)	(21.9)	(37.6)	(0.6)
明第2東地区	183	-	-	2	3	5	10	19	34	48	62	-
	100.0	-	-	(1.1)	(1.6)	(2.7)	(5.5)	(10.4)	(18.6)	(26.2)	(33.9)	-
明第2西地区	247	-	1	5	8	5	17	30	47	62	70	2
	100.0	-	(0.4)	(2.0)	(3.2)	(2.0)	(6.9)	(12.1)	(19.0)	(25.1)	(28.3)	(0.8)

居住地域ごとの年齢階層をみると、65歳以上が9割以上を占め、75歳以上の後期高齢者でも7割以上を占めており、特に矢切地区では8割以上となっている。



## 地域別の状況（要介護度）

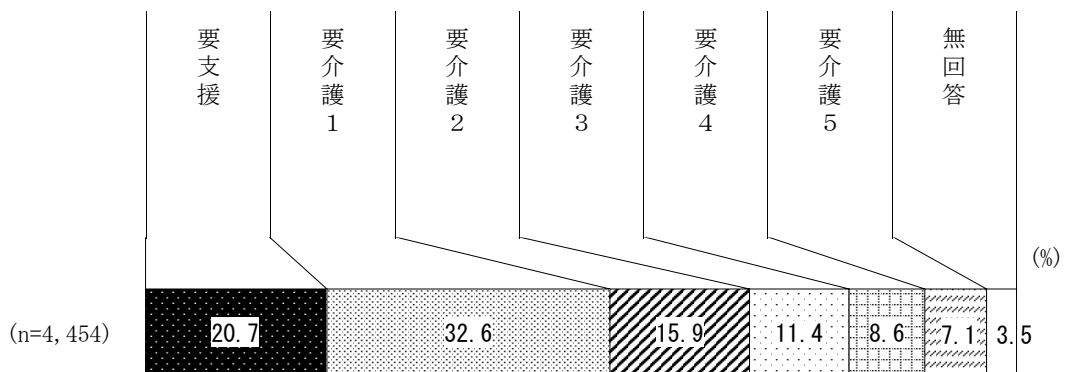
上段：実数(人)

下段：構成比(%)

	調査数	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体	4,454	924	1,453	710	509	383	317	158
	100.0	(20.7)	(32.6)	(15.9)	(11.4)	(8.6)	(7.1)	(3.5)
馬橋地区	386	75	122	67	42	39	29	12
	100.0	(19.4)	(31.6)	(17.4)	(10.9)	(10.1)	(7.5)	(3.1)
五香六実地区	525	121	173	91	60	32	30	18
	100.0	(23.0)	(33.0)	(17.3)	(11.4)	(6.1)	(5.7)	(3.4)
小金原地区	334	86	103	42	33	40	20	10
	100.0	(25.7)	(30.8)	(12.6)	(9.9)	(12.0)	(6.0)	(3.0)
常盤平地区	742	159	263	114	88	50	49	19
	100.0	(21.4)	(35.4)	(15.4)	(11.9)	(6.7)	(6.6)	(2.6)
東部地区	301	48	102	50	43	25	26	7
	100.0	(15.9)	(33.9)	(16.6)	(14.3)	(8.3)	(8.6)	(2.3)
小金地区	366	65	134	63	39	28	25	12
	100.0	(17.8)	(36.6)	(17.2)	(10.7)	(7.7)	(6.8)	(3.3)
新松戸地区	223	42	75	28	26	31	15	6
	100.0	(18.8)	(33.6)	(12.6)	(11.7)	(13.9)	(6.7)	(2.7)
矢切地区	196	44	63	31	25	11	16	6
	100.0	(22.4)	(32.1)	(15.8)	(12.8)	(5.6)	(8.2)	(3.1)
明第1地区	458	101	134	71	66	33	37	16
	100.0	(22.1)	(29.3)	(15.5)	(14.4)	(7.2)	(8.1)	(3.5)
本庁地区	236	52	73	38	27	25	17	4
	100.0	(22.0)	(30.9)	(16.1)	(11.4)	(10.6)	(7.2)	(1.7)
馬橋西地区	178	37	64	32	15	16	9	5
	100.0	(20.8)	(36.0)	(18.0)	(8.4)	(9.0)	(5.1)	(2.8)
明第2東地区	183	32	64	30	14	18	20	5
	100.0	(17.5)	(35.0)	(16.4)	(7.7)	(9.8)	(10.9)	(2.7)
明第2西地区	247	50	68	44	29	26	22	8
	100.0	(20.2)	(27.5)	(17.8)	(11.7)	(10.5)	(8.9)	(3.2)

居住地域ごとの要介護度をみると、すべての地区で要支援と要介護1を合わせた割合が5割程度を占めており、大きな違いはみられない。しかし、その中では馬橋地区、小金原地区、新松戸地区、本庁地区、明第2東地区、明第2西地区では要介護4が比較的多く、要介護5を合わせた割合が2割前後となっている。

問4 要介護度



介護保険要介護認定者の要介護度は、「要介護1」が32.6%と最も多く、これに要支援が20.7%で次いでいる。

性別 要介護度

上段：実数(人)  
下段：構成比(%)

	調査数	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体	4,454	924	1,453	710	509	383	317	158
	100.0	(20.7)	(32.6)	(15.9)	(11.4)	(8.6)	(7.1)	(3.5)
男性	1,363	228	429	224	208	134	98	42
	100.0	(16.7)	(31.5)	(16.4)	(15.3)	(9.8)	(7.2)	(3.1)
女性	3,048	688	1,022	485	300	248	217	88
	100.0	(22.6)	(33.5)	(15.9)	(9.8)	(8.1)	(7.1)	(2.9)

性別では、「要支援」では女性が男性を5.9ポイント上回り、「要介護3」では男性が女性を5.5ポイント上回っている。

## 年齢別 要介護度

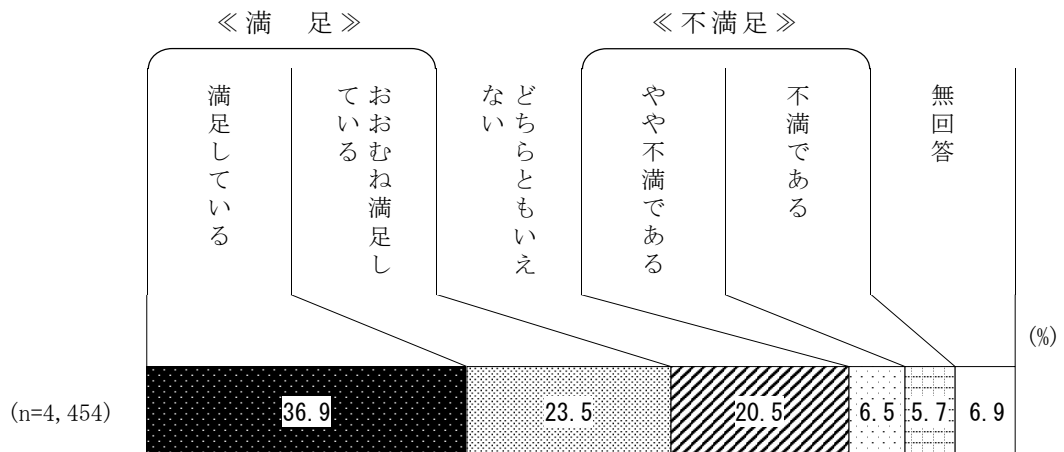
上段：実数(人)

下段：構成比(%)

	調査数	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
40～44歳	5	1	1	1	-	1	-	1
	100.0	(20.0)	(20.0)	(20.0)	-	(20.0)	-	(20.0)
45～49歳	9	1	2	1	1	2	2	-
	100.0	(11.1)	(22.2)	(11.1)	(11.1)	(22.2)	(22.2)	-
50～54歳	31	3	7	6	4	7	4	-
	100.0	(9.7)	(22.6)	(19.4)	(12.9)	(22.6)	(12.9)	-
55～59歳	71	5	25	18	7	8	7	1
	100.0	(7.0)	(35.2)	(25.4)	(9.9)	(11.3)	(9.9)	(1.4)
60～64歳	125	11	42	24	20	13	14	1
	100.0	(8.8)	(33.6)	(19.2)	(16.0)	(10.4)	(11.2)	(0.8)
65～69歳	343	61	98	70	51	32	22	9
	100.0	(17.8)	(28.6)	(20.4)	(14.9)	(9.3)	(6.4)	(2.6)
70～74歳	543	115	181	95	52	51	31	18
	100.0	(21.2)	(33.3)	(17.5)	(9.6)	(9.4)	(5.7)	(3.3)
75～79歳	797	220	283	100	78	53	41	22
	100.0	(27.6)	(35.5)	(12.5)	(9.8)	(6.6)	(5.1)	(2.8)
80～84歳	1,018	283	364	132	84	68	52	35
	100.0	(27.8)	(35.8)	(13.0)	(8.3)	(6.7)	(5.1)	(3.4)
85歳以上	1,466	216	443	259	211	148	143	46
	100.0	(14.7)	(30.2)	(17.7)	(14.4)	(10.1)	(9.8)	(3.1)

年齢別では、要介護4以上は、50～54歳で35.5%、45～49歳で44.4%を占めている。

問4-1 要介護度認定の満足度



要介護度認定に「満足している」人は36.9%となっており、これに「おおむね満足している」(23.5%)を合わせた《満足》している人は6割を占める。一方、「やや不満である」(6.5%)と「不満である」(5.7%)を合わせた《不満》は1割強となっている。

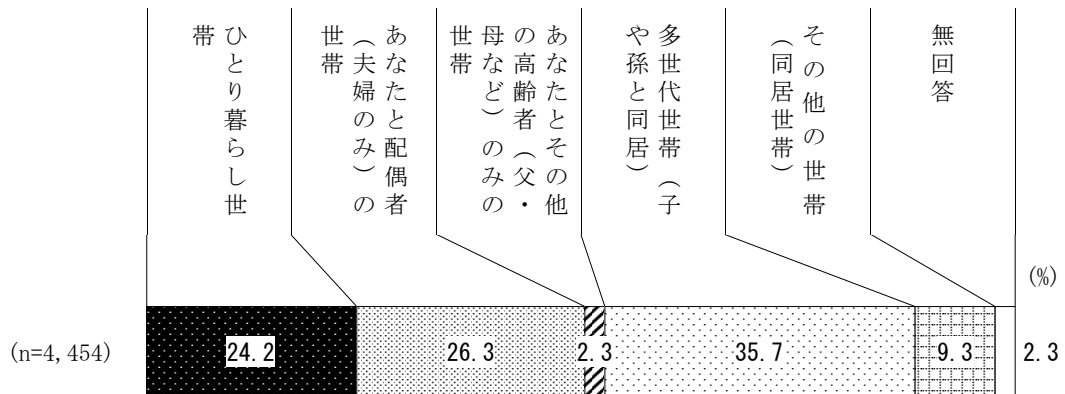
調査票記入者別 要介護度認定の満足度

上段：実数(人)  
下段：構成比(%)

	調査数	満足している	おおむね満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答
全体	4,454	1,642	1,047	912	290	255	308
	100.0	(36.9)	(23.5)	(20.5)	(6.5)	(5.7)	(6.9)
本人	1,741	750	395	265	113	84	134
	100.0	(43.1)	(22.7)	(15.2)	(6.5)	(4.8)	(7.7)
家族・親族	2,456	819	604	591	164	152	126
	100.0	(33.3)	(24.6)	(24.1)	(6.7)	(6.2)	(5.1)
その他	140	35	26	38	9	15	17
	100.0	(25.0)	(18.6)	(27.1)	(6.4)	(10.7)	(12.1)

調査票記入者別にみると、本人では、《満足》が65.8%、《不満》が11.3%、一方、家族・親族では《満足》は57.9%、《不満》が12.9%となっており、本人の満足度が他の記入者と比べてやや多くなっている。

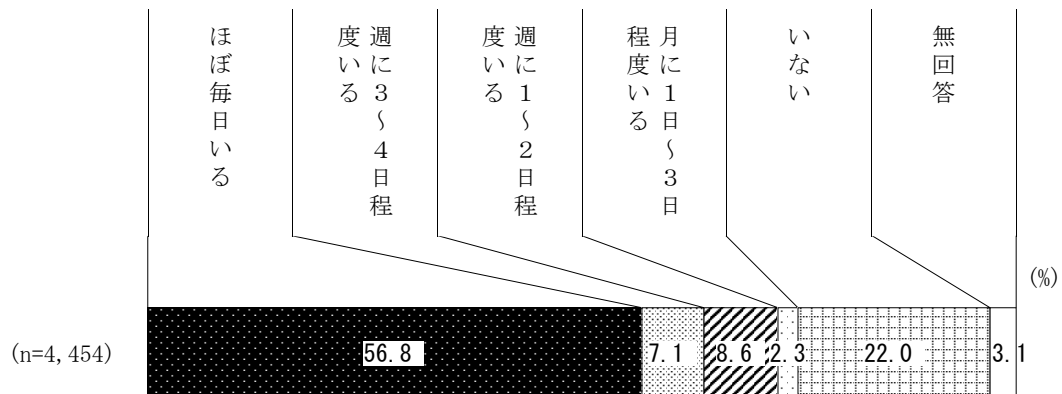
問5 家族構成



※ここでの高齢者は65歳以上の方とします。

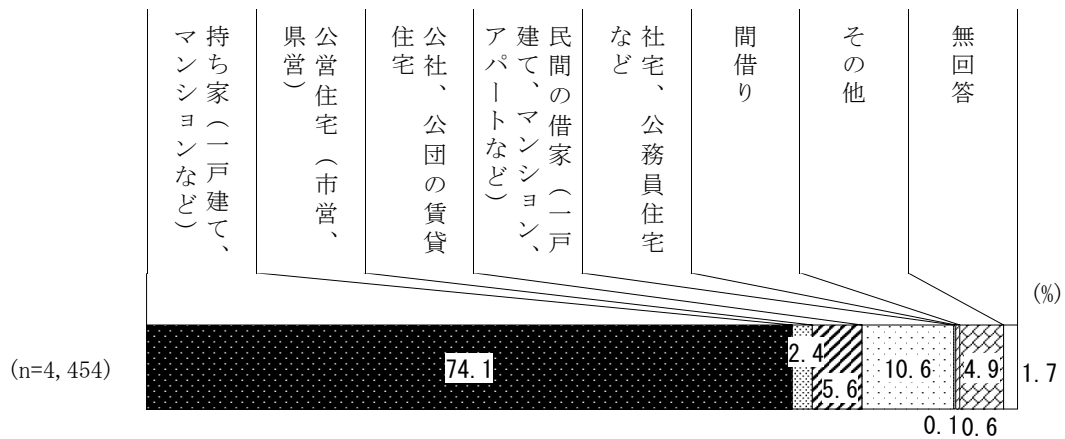
家族構成は、「多世代世帯（子や孫と同居）」が35.7%と最も多く、「あなたと配偶者（夫婦のみ）の世帯」（26.3%）と「ひとり暮らし世帯」（24.2%）がそれぞれ2割半ばである。

問6 日中の家族の在宅状況（高齢者以外）



日中の家族の在宅状況では、「ほぼ毎日いる」（56.8%）が半数を占めている。一方、「いない」は2割強となっている。「週に1〜2日程度いる」、「月1日〜3日程度いる」を合わせると、3割強の人が日中ひとりで自宅で過ごしている。

問7 住居形態



現在の住居形態としては、「持ち家（一戸建て、マンションなど）」が74.1%と7割を超えている。

家族構成別 住居形態

上段：実数(人)  
下段：構成比(%)

家族構成	調査数	持ち家（一戸建て、マンションなど）	公営住宅（市営、県営）	公社、公団の賃貸住宅	民間の借家（一戸建て、マンション、アパートなど）	社宅、公務員住宅など	間借り	その他	無回答
ひとり暮らし世帯	4,454	3,302	107	250	470	4	28	218	75
	100.0	(74.1)	(2.4)	(5.6)	(10.6)	(0.1)	(0.6)	(4.9)	(1.7)
あなたと配偶者（夫婦のみ）の世帯	1,076	587	36	113	203	-	5	115	17
	100.0	(54.6)	(3.3)	(10.5)	(18.9)	-	(0.5)	(10.7)	(1.6)
あなたとその他の高齢者（父・母など）のみの世帯	1,171	880	31	82	139	-	4	29	6
	100.0	(75.1)	(2.6)	(7.0)	(11.9)	-	(0.3)	(2.5)	(0.5)
多世代世帯（子や孫と同居）	101	85	3	6	3	-	3	1	-
	100.0	(84.2)	(3.0)	(5.9)	(3.0)	-	(3.0)	(1.0)	-
その他の世帯（同居世帯）	1,589	1,397	26	35	81	2	7	31	10
	100.0	(87.9)	(1.6)	(2.2)	(5.1)	(0.1)	(0.4)	(2.0)	(0.6)
その他	414	315	7	12	39	2	8	30	1
	100.0	(76.1)	(1.7)	(2.9)	(9.4)	(0.5)	(1.9)	(7.2)	(0.2)

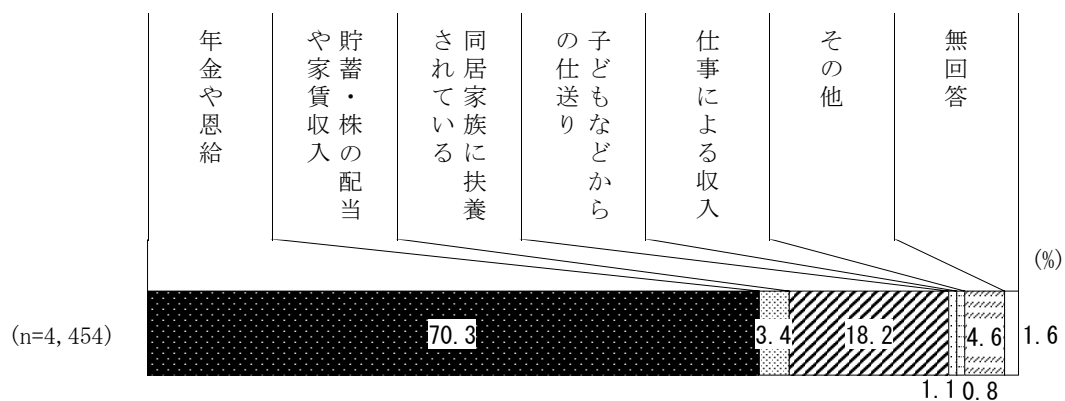
家族構成別で見ると、いずれも「持ち家（一戸建て、マンションなど）」が最も多いが、「あなたと配偶者（夫婦のみ）の世帯」では、54.6%と比較的少なく、「民間の借家（一戸建て、マンション・アパートなど）」が18.9%となっている。

## 1. 日常生活の状況

### 1-1 日常の生活費の収入源

問8 あなたの日常の生活費は、主にどこから得ていますか。（○は1つ）

図1-1 日常の生活費の収入源

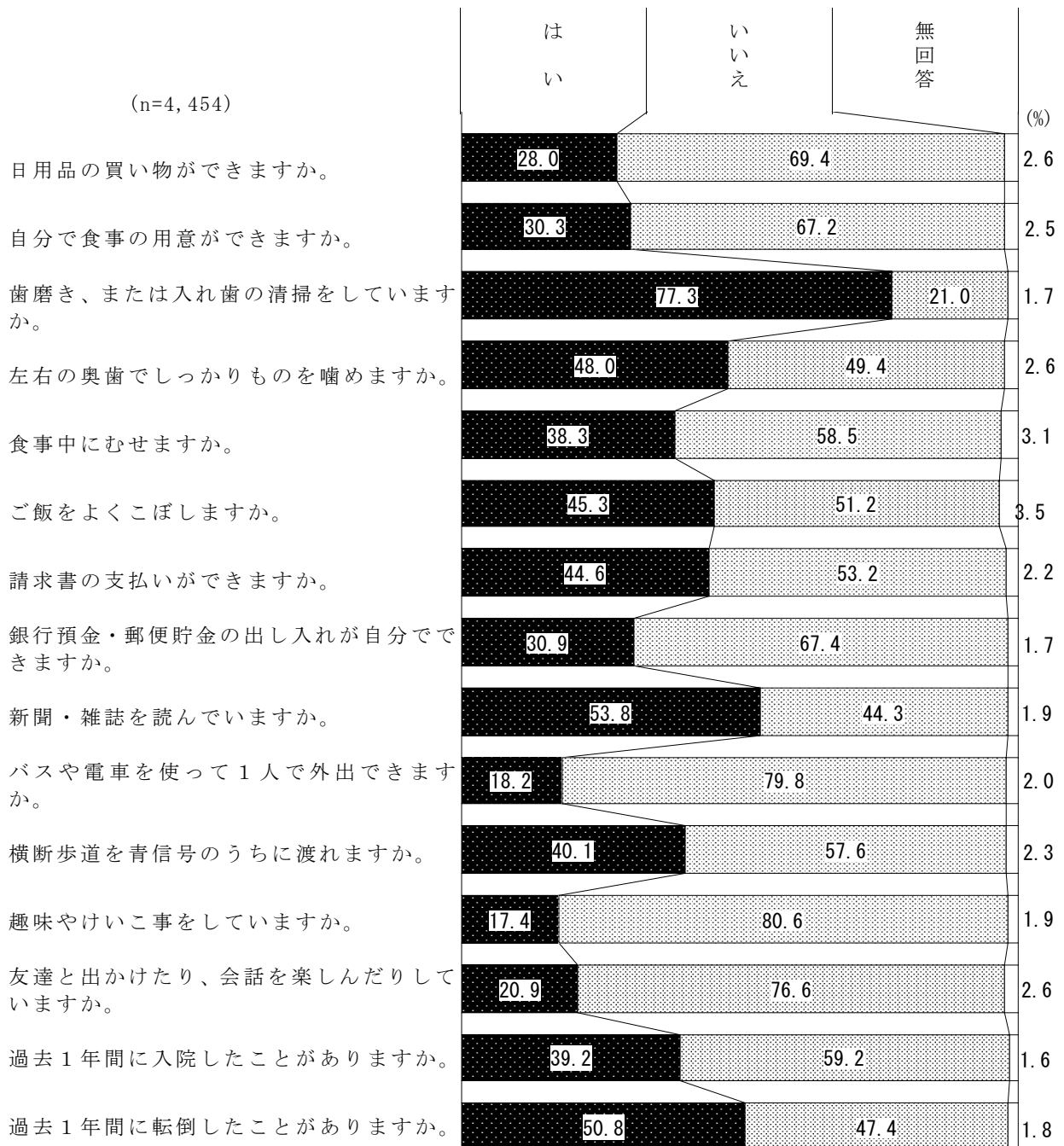


日常の生活費の収入源は、「年金や恩給」が70.3%で最も多く、これに「同居家族に扶養されている」（18.2%）が次いでいる（図1-1）。

1-2 日常生活の状況

問9 あなたの現在の日常生活の状況はいかがですか。それぞれについて、お答えください。（あてはまる方に○）

図1-2 日常生活の状況



現在の日常生活の状況を「はい」の多い順に整理すると、“歯磨き、または入れ歯の掃除をしていますか”が77.3%で最も多く、以下“新聞・雑誌を読んでいますか”（53.8%）、“過去1年間に転倒したことがありますか”（50.8%）、“左右の奥歯でしっかりものを噛めますか”（48.0%）の順で続いている（図1-2）。



要介護度別（要支援・要介護1）にしたものを整理すると、以下の傾向が生じている。

① 買い物や食事の用意、外出などの基本的な家事・生活動作でも要支援と要介護1では大きく異なり、要介護1では6割以上が出来ない項目が多い。

② 歯磨き・入れ歯の清掃では、両者とも9割以上が出来ているが、しっかり噛む、食事中にむせる、こぼすなどでは、両者とも3割弱から4割台が問題をかかえていることがわかる。

③ また、趣味や会話が弾むなどの生きがいに関することでも否定的な回答が多く、特に要介護1では7割後半に達している。

④ 入院や転倒の経験では、要介護1がより多いものの、両者に大きな違いはなく、入院では3割台、転倒経験ではおおむね5割となっている（図1-3）。

図1-3 要介護度別（要支援・要介護1） 日常生活の状況

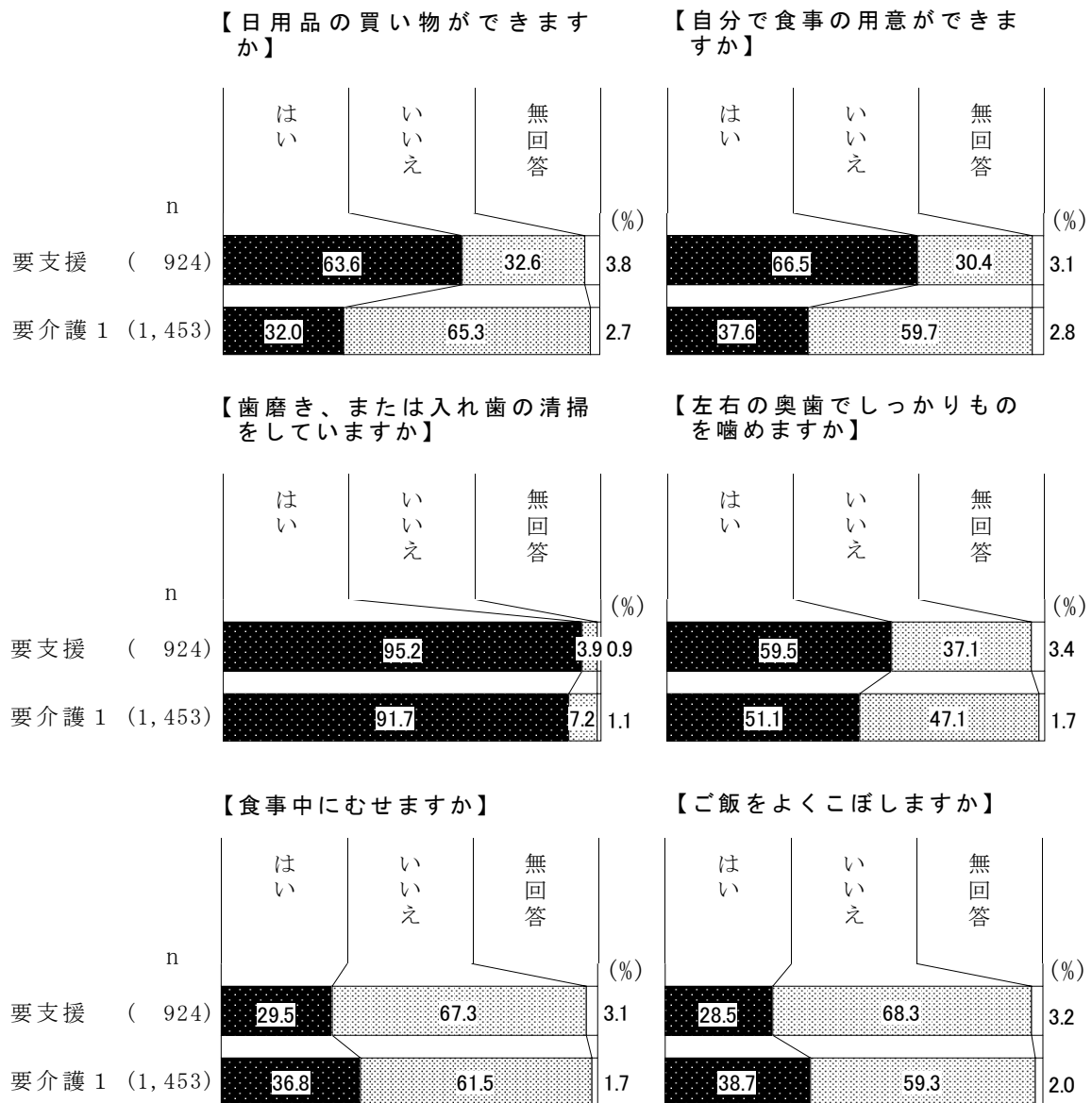


図 1-3 要介護度別（要支援・要介護1） 日常生活の状況（つづき）

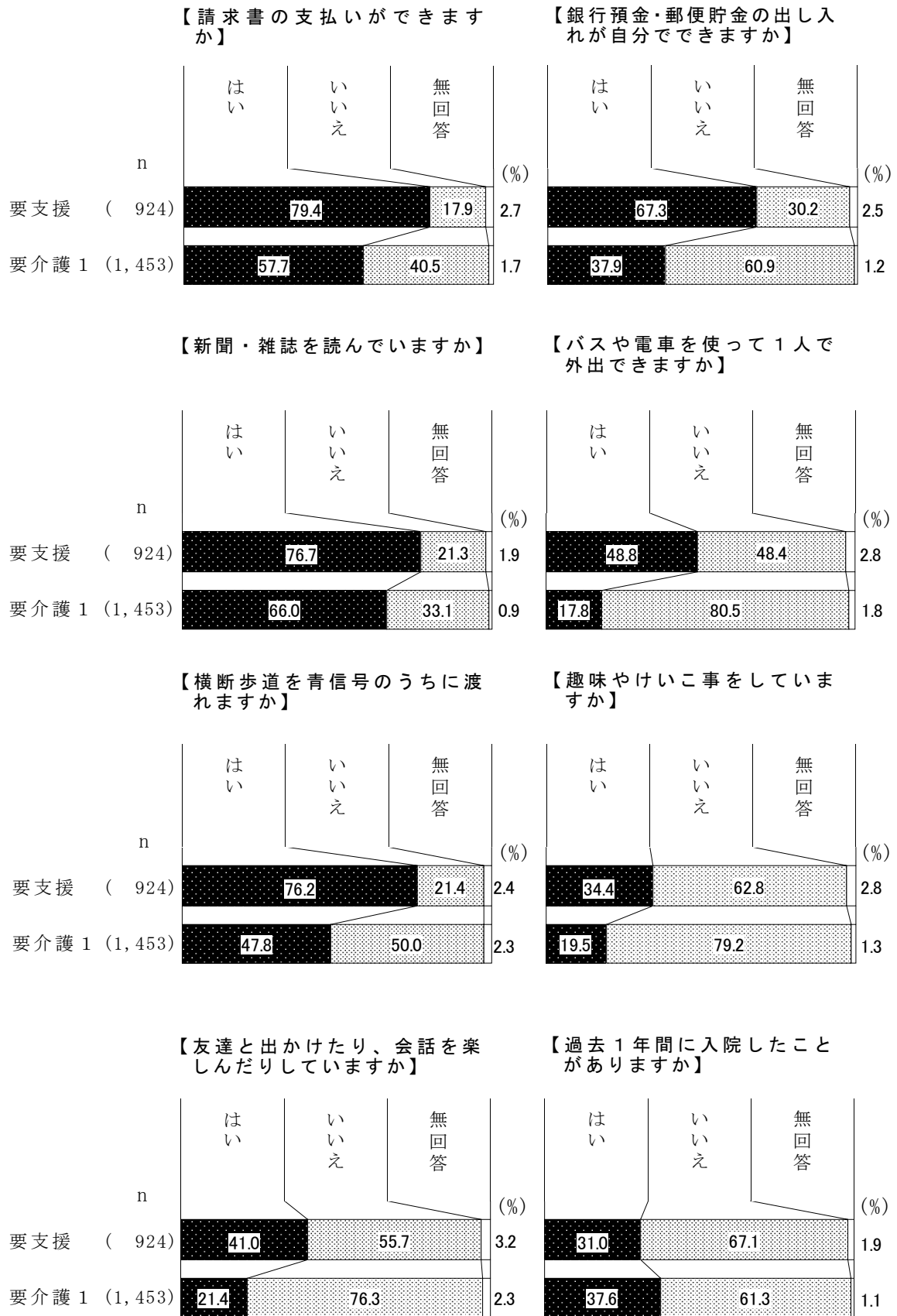
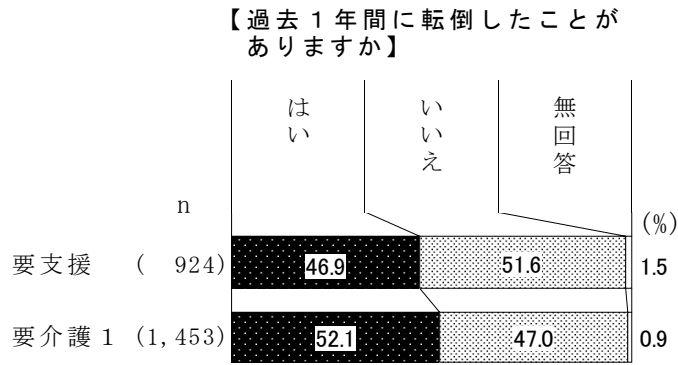


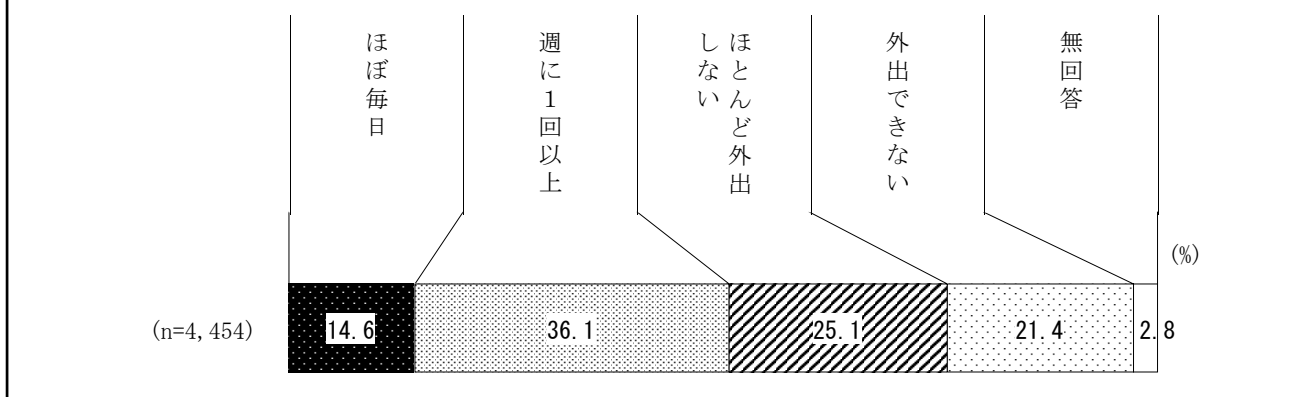
図 1 - 3 要介護度別（要支援・要介護 1） 日常生活の状況（つづき）



1-3 外出頻度

問10 日頃の、外出状況や今後の希望等についておたずねします。あなたは、  
 現在どの程度外出していますか。（○は1つ）

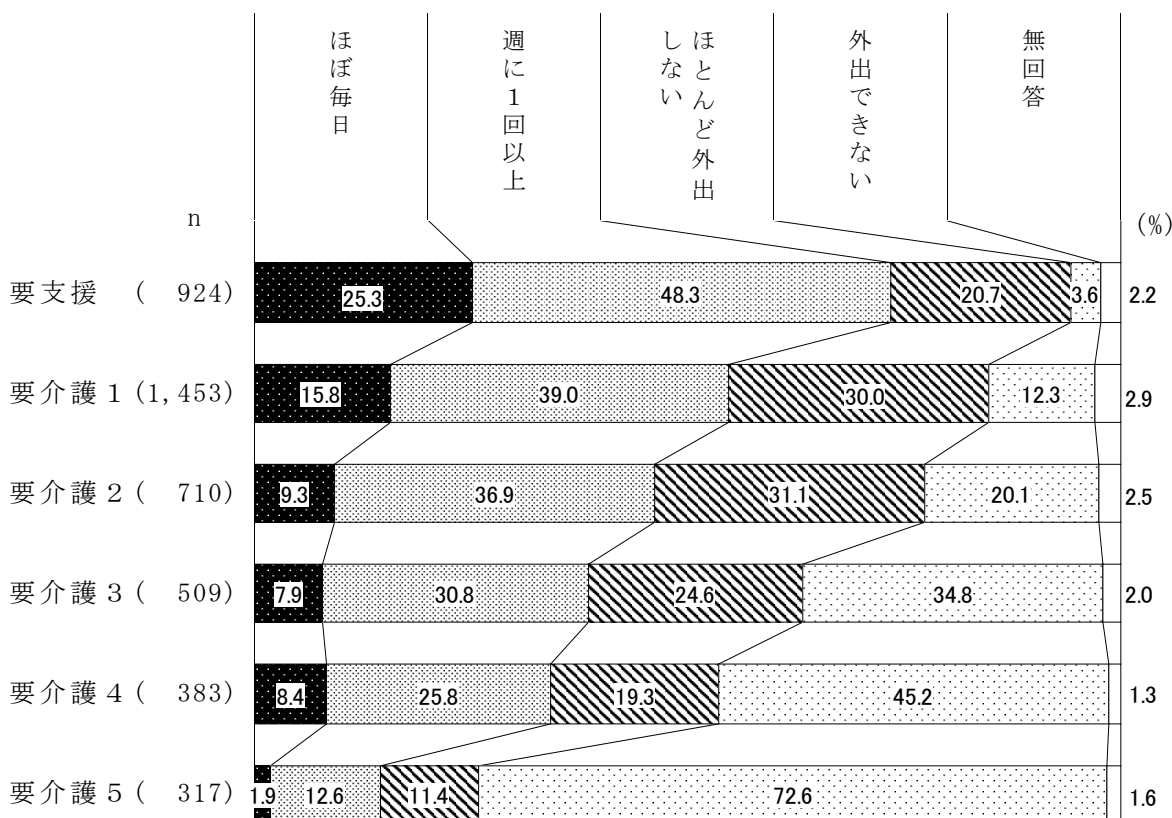
図1-4 外出頻度



外出については「ほぼ毎日」が14.6%、「週に1回以上」が36.1%を占めている。一方、「ほとんど外出しない」は25.1%、「外出できない」は21.4%である（図1-4）。

要介護度別でみると、要支援、要介護1では「ほとんど毎日」が、それぞれ25.3%、15.8%いるが、介護度が高くなるにつれて、外出頻度は低下し、要介護5では「外出できない」が72.6%に達している（図1-5）。

図1-5 要介護度別 外出頻度



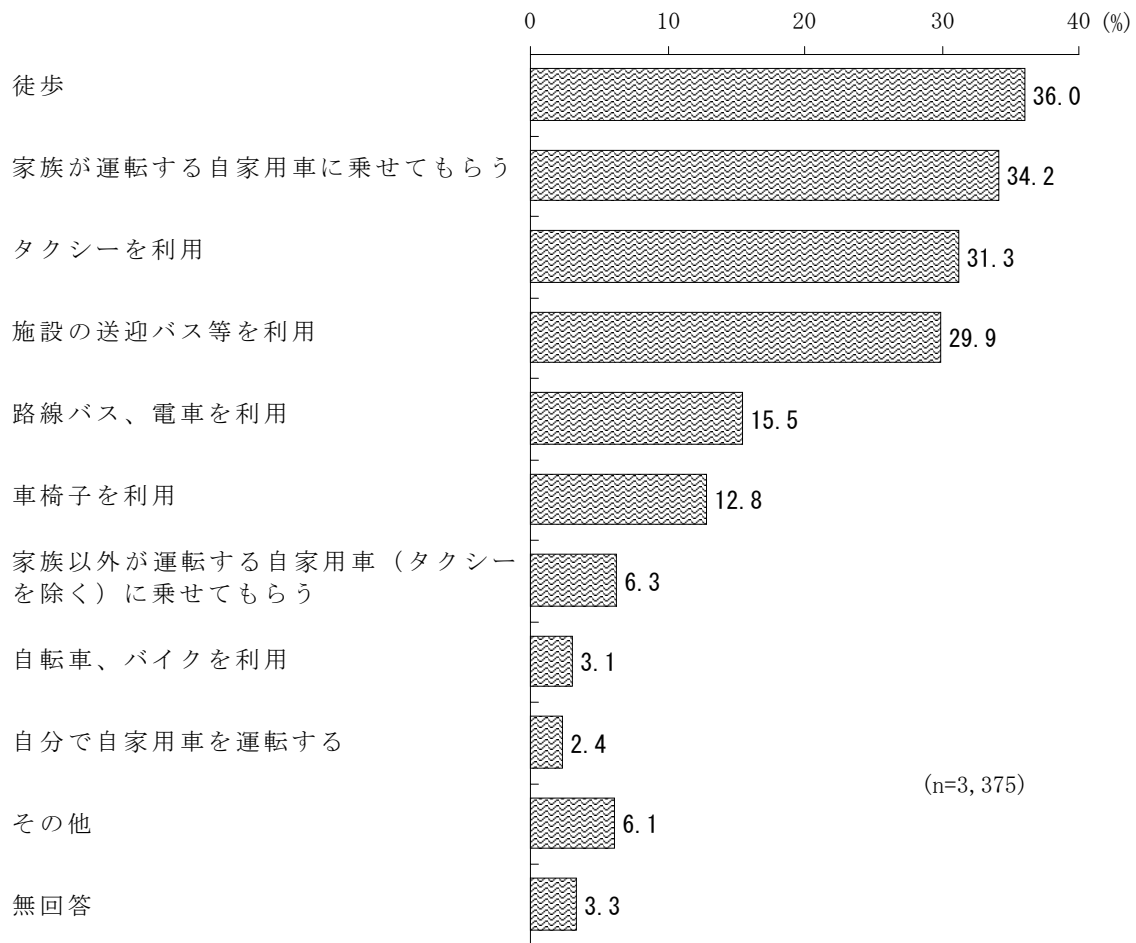
## 1-4 外出の方法

【問10で「ほぼ毎日」、「週に1回以上」、「ほとんど外出しない」を選んだ方におたずねします。】

問10-1 あなたは日頃、どのような方法で外出していますか。

（あてはまるものすべてに○）

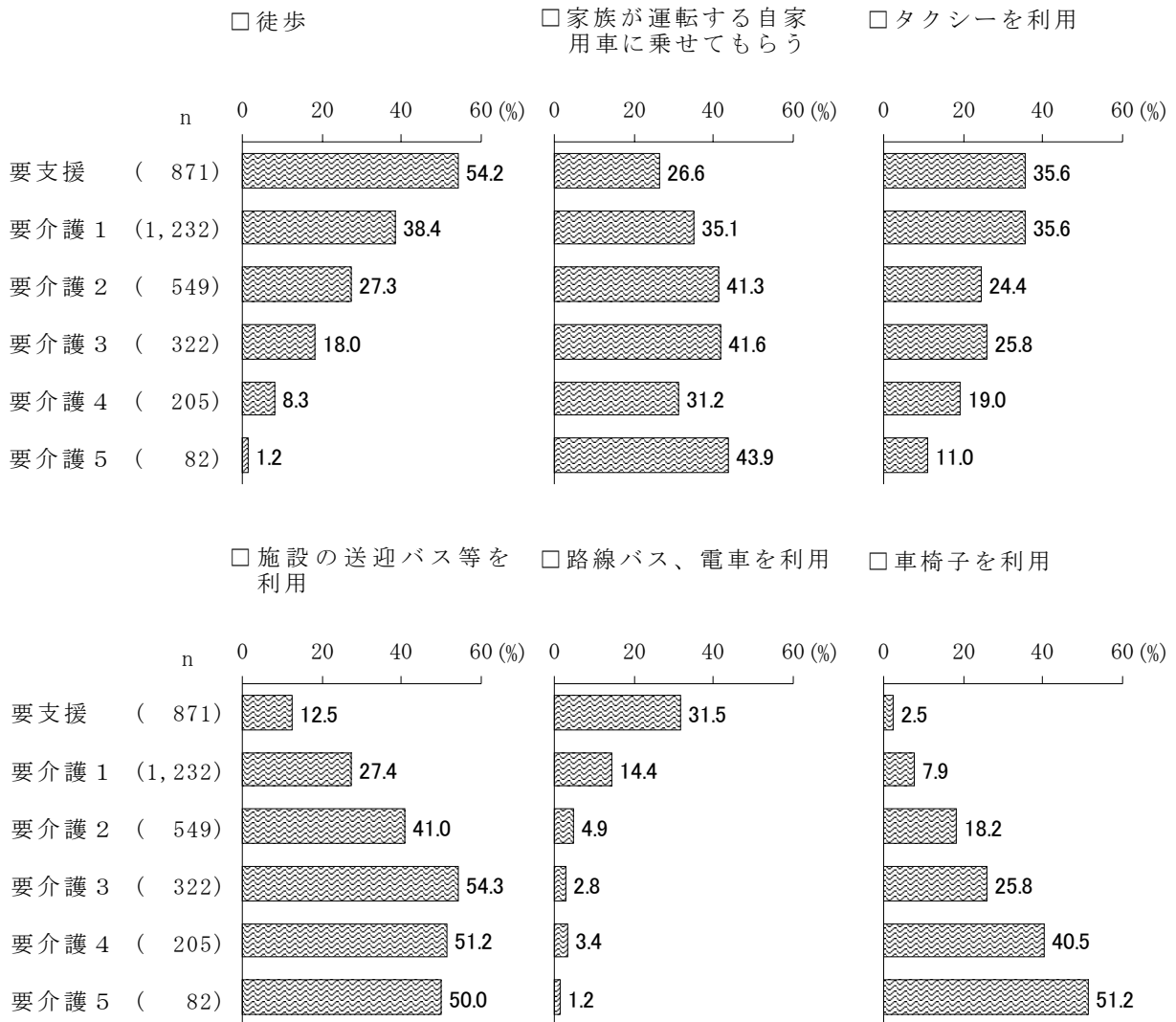
図1-6 外出の方法



「ほぼ毎日」「週に1回以上」「ほとんど外出しない」という人（75.8%）に、外出方法をきくと、「徒歩」が36.0%で最も多く、以下「家族が運転する自家用車に乗せてもらう」（34.2%）、「タクシーを利用」（31.3%）、「施設の送迎バスを利用」（29.9%）の順で続いている（図1-6）。

徒歩を除く交通手段を要介護度別で見ると、要支援、要介護1については、「タクシーを利用」がそれぞれ35.6%と多くなっている。一方、要介護3以上では、「施設の送迎バス等を利用」がいずれも50.0%を超えている（図1-7）。

図 1-7 要介護度別 外出の方法（上位6項目）



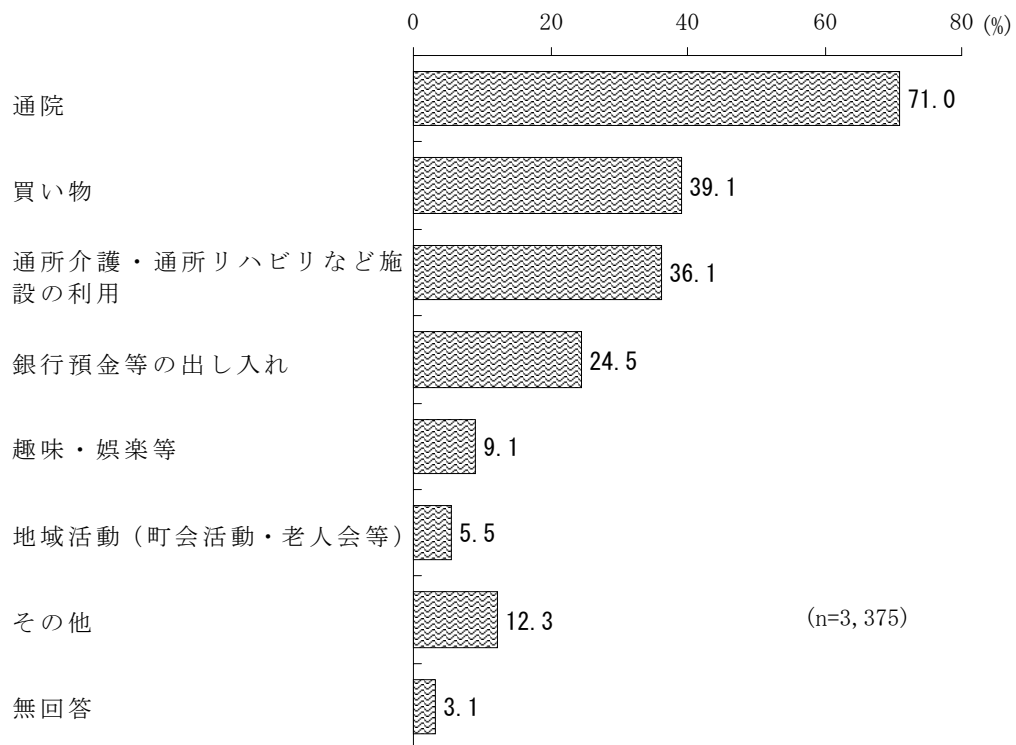
## 1-5 外出の目的

【問10で「ほぼ毎日」、「週に1回以上」、「ほとんど外出しない」を選んだ方におたずねします。】

問10-2 日頃、どのような目的で外出していますか。

（あてはまるものすべてに○）

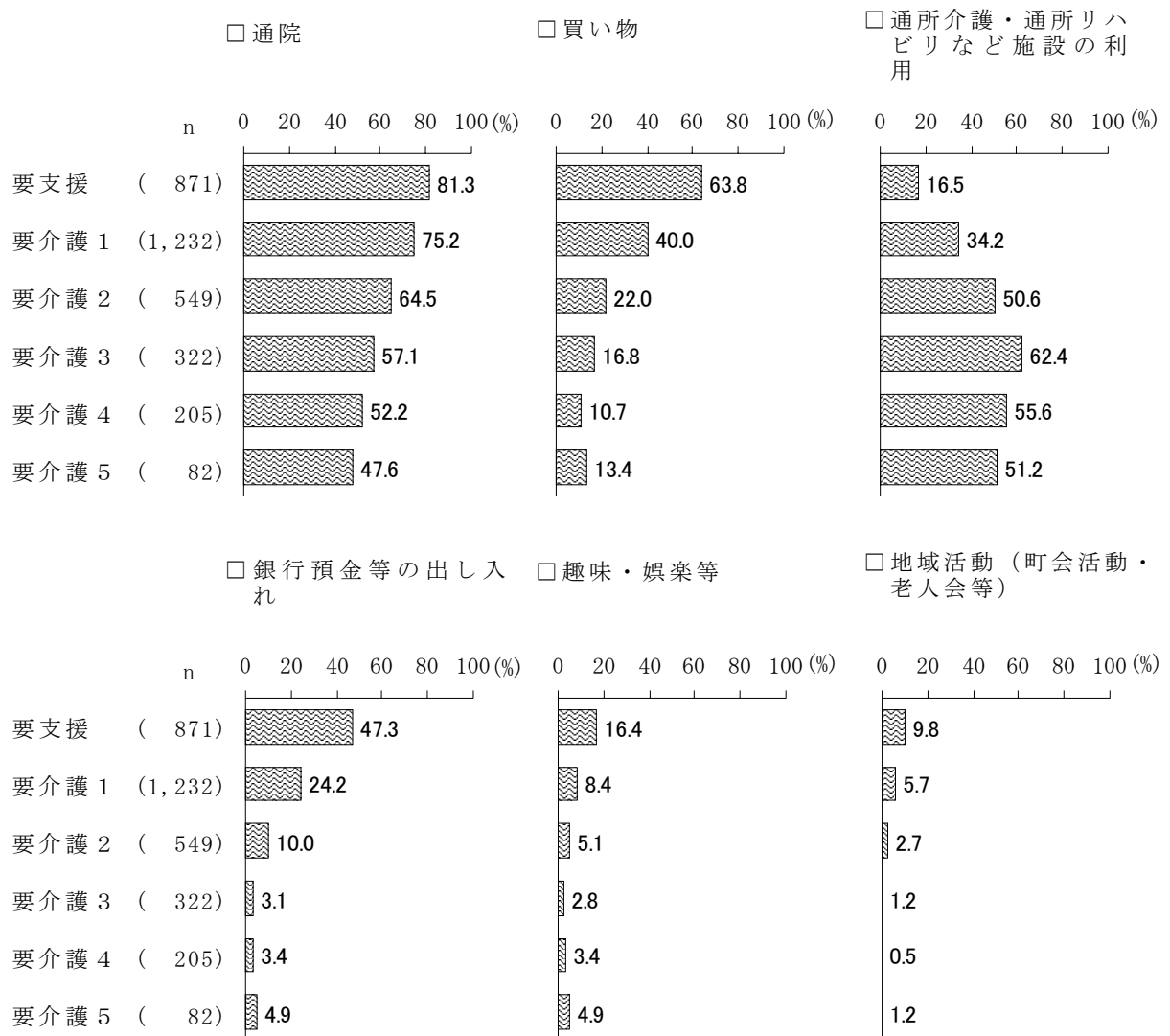
図1-8 外出の目的



「ほぼ毎日」「週に1回以上」「ほとんど外出しない」という人（75.8%）に、外出目的をきくと、「通院」が71.0%で最も多く、これに「買い物」（39.1%）と「通所介護・通所リハビリなど施設の利用」（36.1%）が次いでいる（図1-8）。

要介護度別で見ると、要支援、要介護1では「買い物」や「通院」が多いが、要介護2以上になると、「通院」と並んで「通所介護・通所リハビリ等の施設の利用」が、どの介護度でも、50.0%を超えて多くなっている（図1-9）。

図 1-9 要介護度別 外出の目的



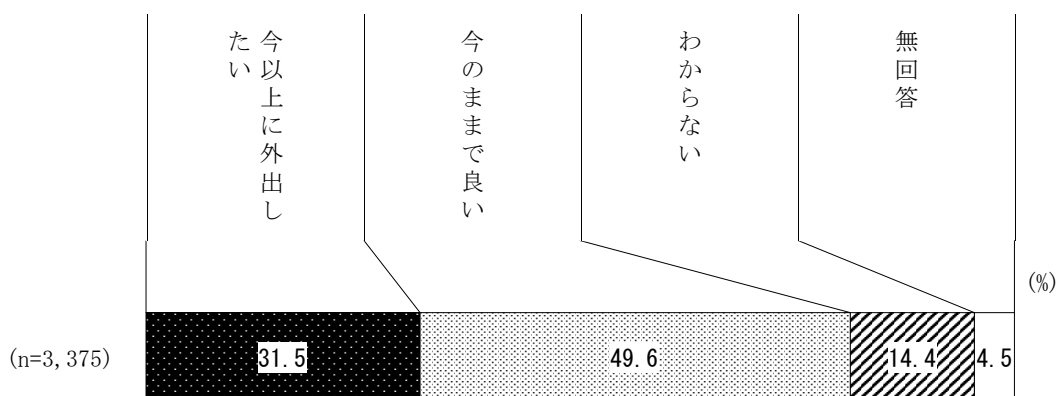


1-6 今後の外出意向

【問10で「ほぼ毎日」、「週に1回以上」、「ほとんど外出しない」を選んだ方におたずねします。】

問10-3 今以上に外出したいですか。（○は1つ）

図1-10 今後の外出意向

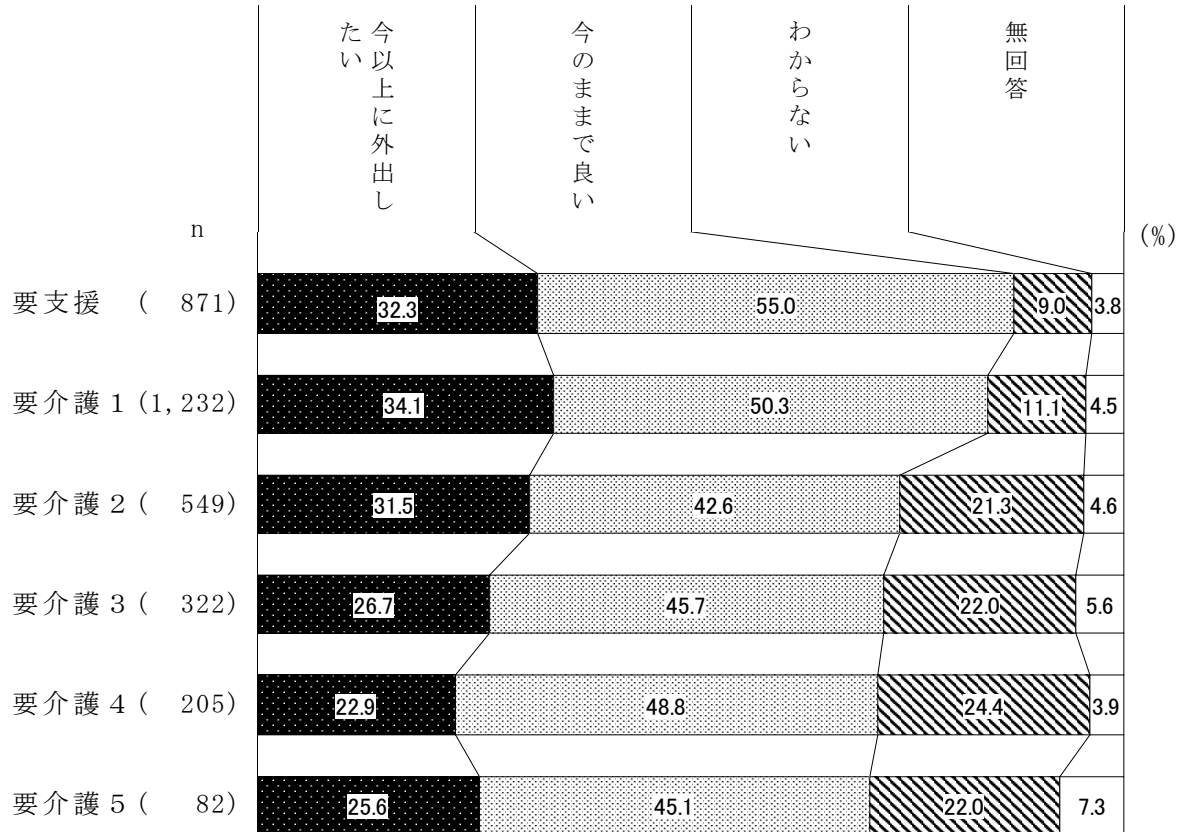


「ほぼ毎日」「週に1回以上」「ほとんど外出しない」という人（75.8%）に、今後の外出意向をきくと、「今のままで良い」が49.6%で、「今以上に外出したい」（31.5%）を上回っている（図1-10）。

介護保険要介護（要支援）認定者調査結果

要介護度別で見ると、要支援、要介護1、要介護2までは「今以上に外出したい」が3割台、要介護3から要介護5までは2割台となっている。また、「今のままで良い」は、要支援、要介護1で半数以上となっている（図1-11）。

図1-11 要介護度別 今後の外出意向

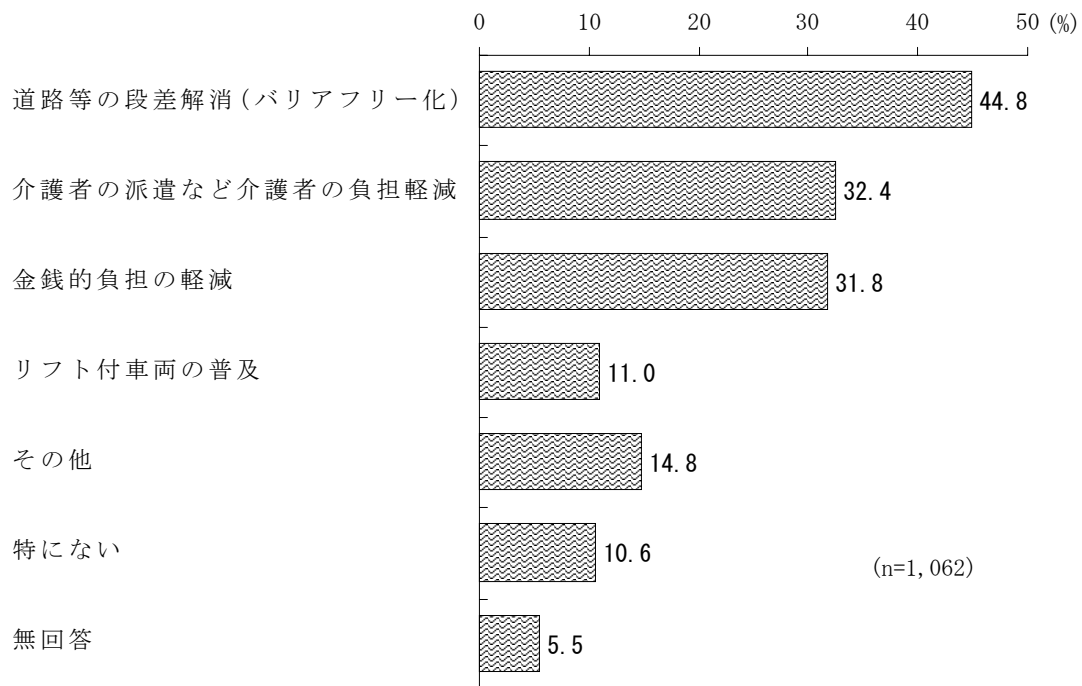


## 1-7 外出のために必要な援助

【問 10-3で「今以上に外出したい」を選んだ方におたずねします。】

問10-3-1 今以上に外出するためにはどのような援助があればよいですか。（あてはまるものすべてに○）

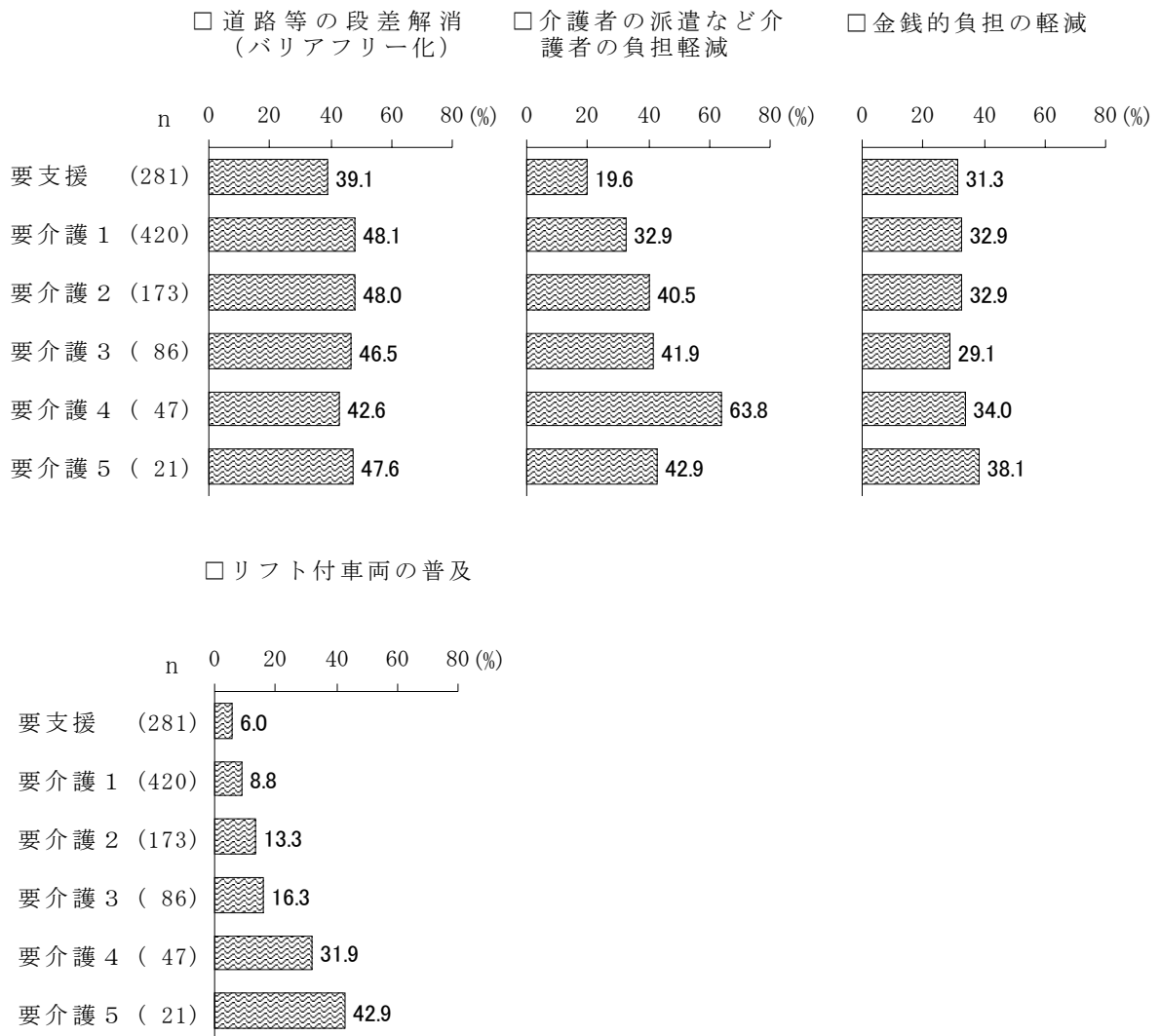
図 1-12 外出のために必要な援助



「今以上に外出したい」（31.5%）という人に、どのような援助を求めるかきいたところ、「道路等の段差解消（バリアフリー化）」が44.8%で最も多く、「介護者の派遣などの介護者の負担軽減」（32.4%）、「金銭的負担の軽減」（31.8%）の順で続いている（図1-12）。

要介護度別でみると、要介護2から5では「介護者の派遣などの介護者の負担軽減」がいずれも4割を超え、特に要介護4では63.8%を占めている。また、要介護5では「リフト付き車両の普及」という回答も42.9%を占めている（図1-13）。

図 1-13 要介護度別 外出のために必要な援助

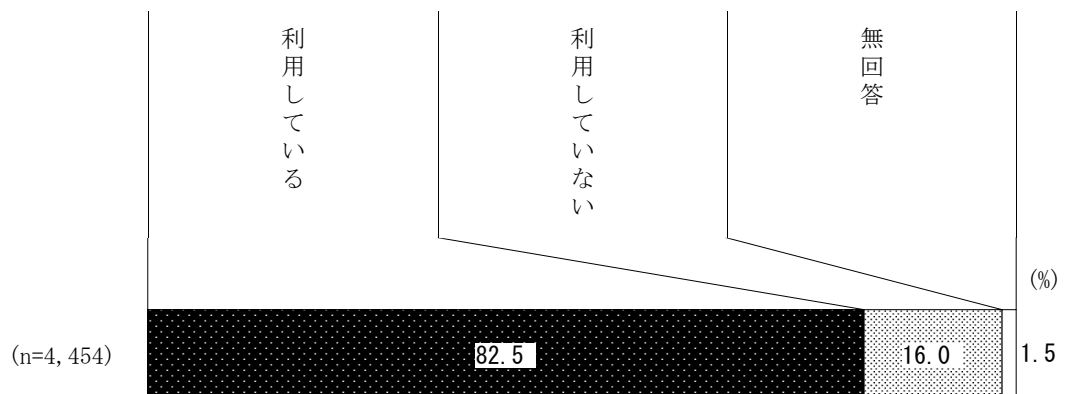


## 2. 介護保険サービスの利用状況

### 2-1 介護保険サービスの利用の有無

問11 あなたは現在、介護保険サービスを利用していますか。（○は1つ）

図2-1 介護保険サービスの利用の有無

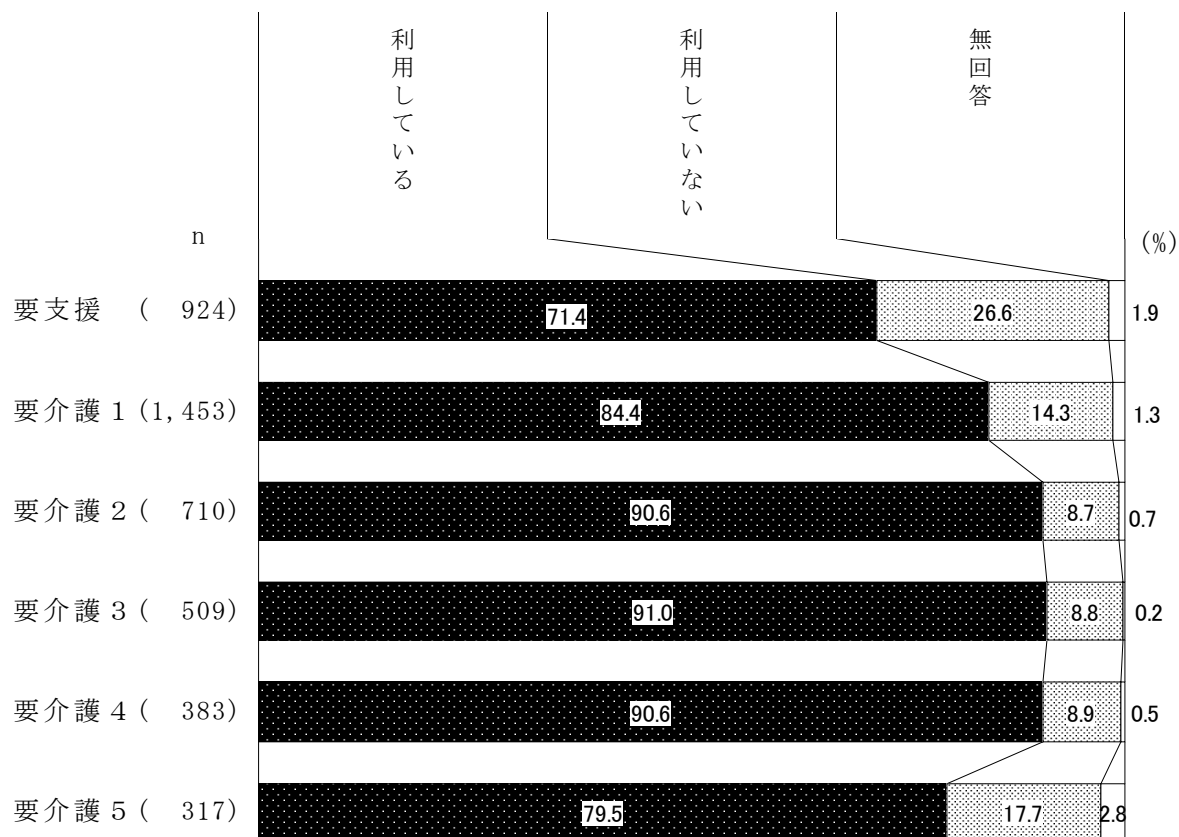


現在、介護保険サービスを「利用している」人は82.5%を占めている。一方「利用していない」は16.0%である（図2-1）。

介護保険要介護（要支援）認定者調査結果

要介護度別にみると、「利用している」は要介護2から要介護4で9割以上を占め、要支援では71.4%、要介護1では84.4%、要介護5では79.5%となっている（図2-2）。

図2-2 要介護度別 介護保険サービスの利用の有無



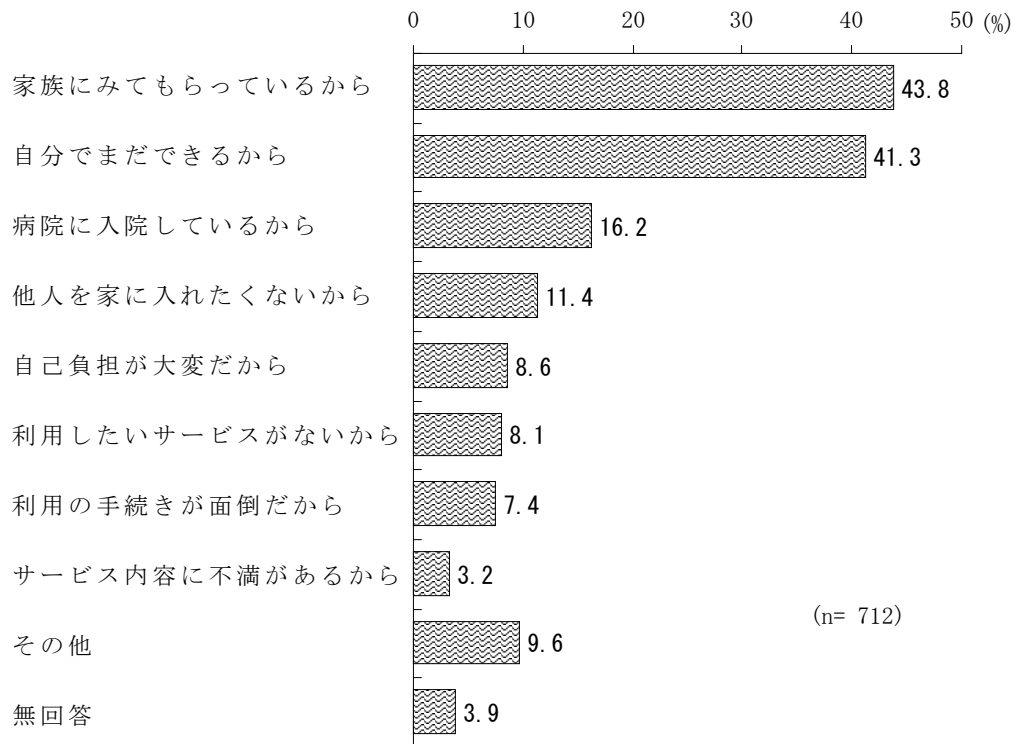
2-2 介護保険サービスを利用していない理由

【問 11 で「利用していない」を選んだ方におたずねします。】

問11-1 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

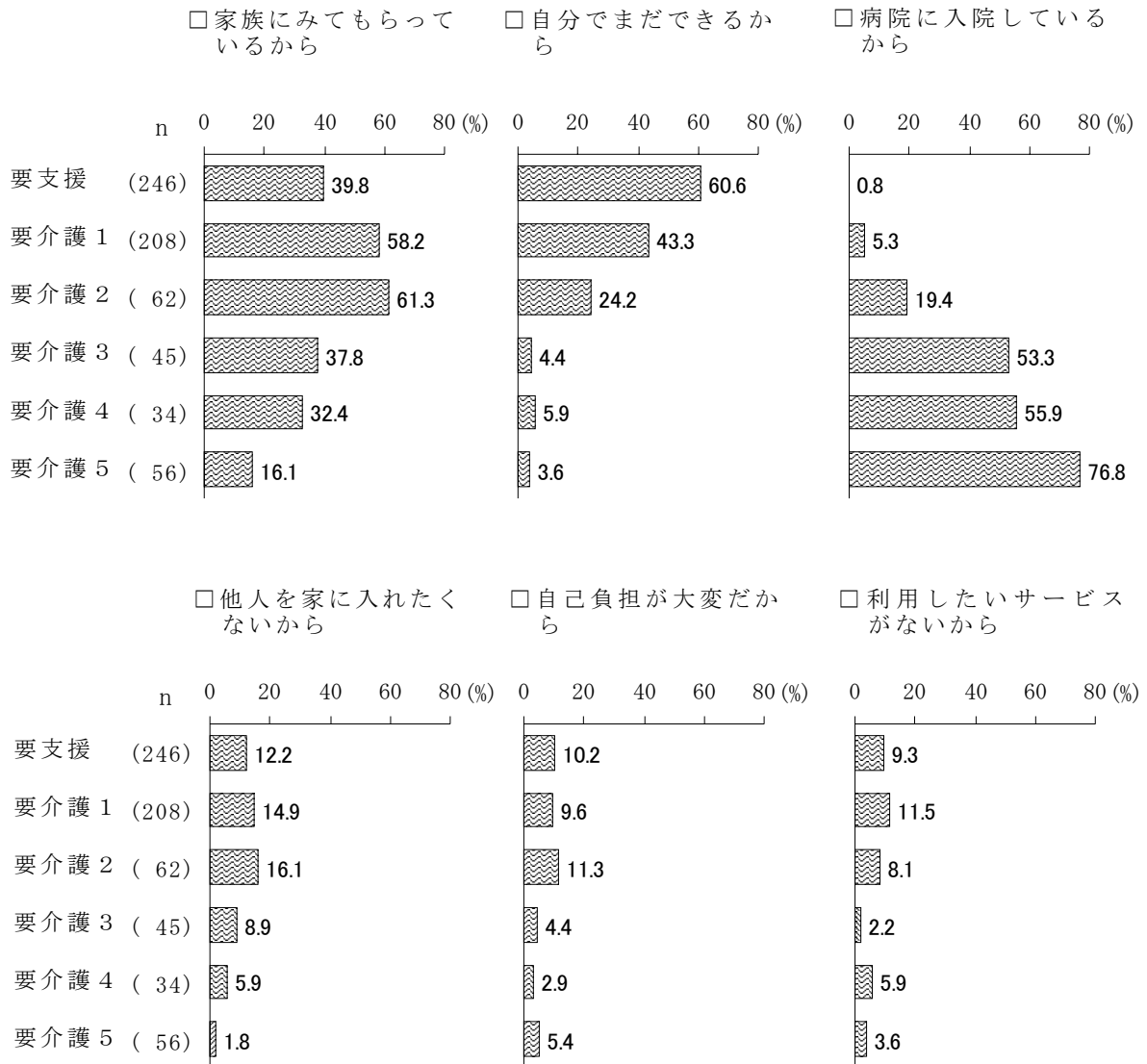
図 2-3 介護保険サービスを利用していない理由



「利用していない」人（16.0％）に、その理由をきいたところ「家族にみてもらっているから」（43.8％）と「自分でまだできるから」（41.3％）が、いずれも4割を超え、特に多くなっている（図2-3）。

要介護度別で見ると、要支援、要介護1では「家族にみてもらっているから」と「自分でまだできるから」が多くなっているが、要介護3以上になると、「病院に入院しているから」が50.0％を超え、特に要介護5では76.8％に達している（図2-4）。

図 2-4 要介護度別 介護保険サービスを利用していない理由（上位6項目）



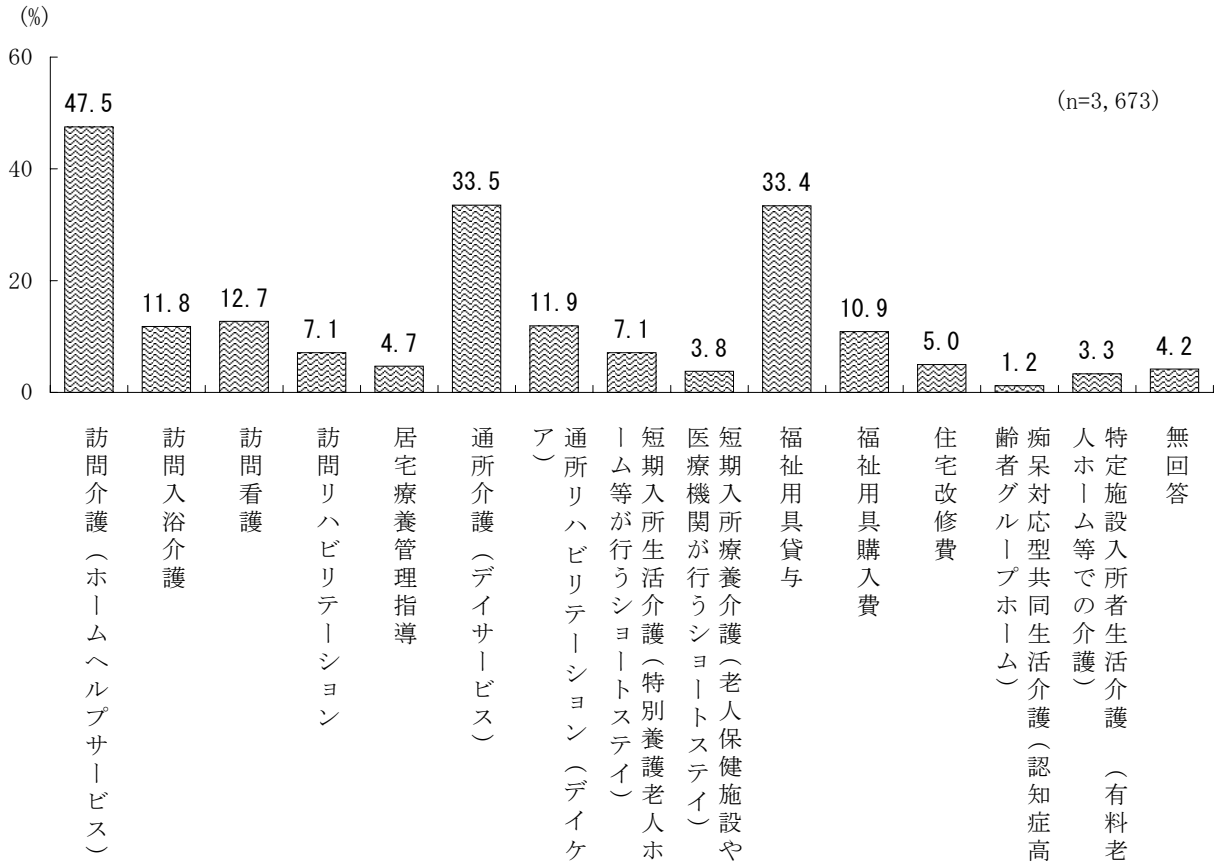


2-3 介護保険サービスの利用状況

【問11で「利用している」を選んだ方におたずねします。】

問11-2 介護保険サービスの利用状況についてお答えください。

図2-5 介護保険サービスの利用状況



介護保険サービスを「利用している」人（82.5%）に、利用しているサービスをきいたところ「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が47.5%で最も多く、以下「通所介護（デイサービス）」（33.5%）、「福祉用具貸与」（33.4%）の順で続いている（図2-5）。

また、利用状況の高い“訪問介護（ホームヘルプサービス）”、“通所介護（デイサービス）”、“福祉用具貸与”の利用回数をみると、“訪問介護（ホームヘルプサービス）”は週平均3.4回、“通所介護（デイサービス）”は月平均7.7回、“福祉用具貸与”は年平均2.0品となっている（表2-1）。

表 2-1 介護保険サービスの利用回数

	n	週 1 回	週 2 回	週 3 回	週 4 回	週 5 回	1 週 0 6 回	以 週 上 1 1 回	無 回 答	n	平 均 （回 ／ 週）
訪問介護（ホームヘルプサービス）	1,746	30.9	26.1	13.3	6.6	5.0	10.6	4.8	2.5	1,702	3.4

	n	月 1 回	月 2 回	月 3 回	月 4 回	月 5 回	1 月 0 6 回	以 月 上 1 1 回	無 回 答	n	平 均 （回 ／ 月）
訪問入浴介護	433	6.2	7.4	2.8	40.9	8.1	24.9	6.9	2.8	421	5.5
訪問看護	465	12.5	24.1	4.5	34.4	5.6	11.6	4.9	2.4	454	4.1
訪問リハビリテーション	259	7.3	7.7	2.7	45.6	3.5	25.1	5.8	2.3	253	5.2
居宅療養管理指導	173	41.0	34.1	1.7	10.4	-	6.9	1.2	4.6	165	2.4
通所介護（デイサービス）	1,230	2.6	5.1	3.3	26.2	2.9	32.9	23.3	3.7	1,185	7.7
通所リハビリテーション（デイケア）	438	3.0	3.7	3.2	36.8	3.7	29.9	16.9	3.0	425	6.8
短期入所生活介護	259	6.2	5.0	8.9	12.7	7.7	34.4	16.2	8.9	236	7.2
短期入所療養介護	139	6.5	2.2	10.1	5.8	6.5	38.8	23.0	7.2	129	8.0
福祉用具貸与	1,228	46.2	21.1	11.3	5.6	4.3	3.3	0.2	8.0	1,130	2.1

	n	年 1 品	年 2 品	年 3 品	年 4 品	年 5 品	1 年 0 6 品	以 年 上 1 1 品	無 回 答	n	平 均 （品 ／ 年）
福祉用具購入費	401	49.4	19.2	12.0	4.7	2.0	2.2	0.5	10.0	361	2.0

要介護度別で利用状況を見ると、要支援、要介護1では「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が、それぞれ64.5%、51.1%と多くなっている。

また、「福祉用具貸与」は、介護度が高くなるにつれて増加し、要介護5では64.3%に達している。

要介護5では「訪問看護」（53.6%）、「訪問入浴介護」（49.6%）とも、他の介護度の人に比べて、多くなっている（図2-6）。

図 2-6 要介護度別 介護保険サービスの利用状況

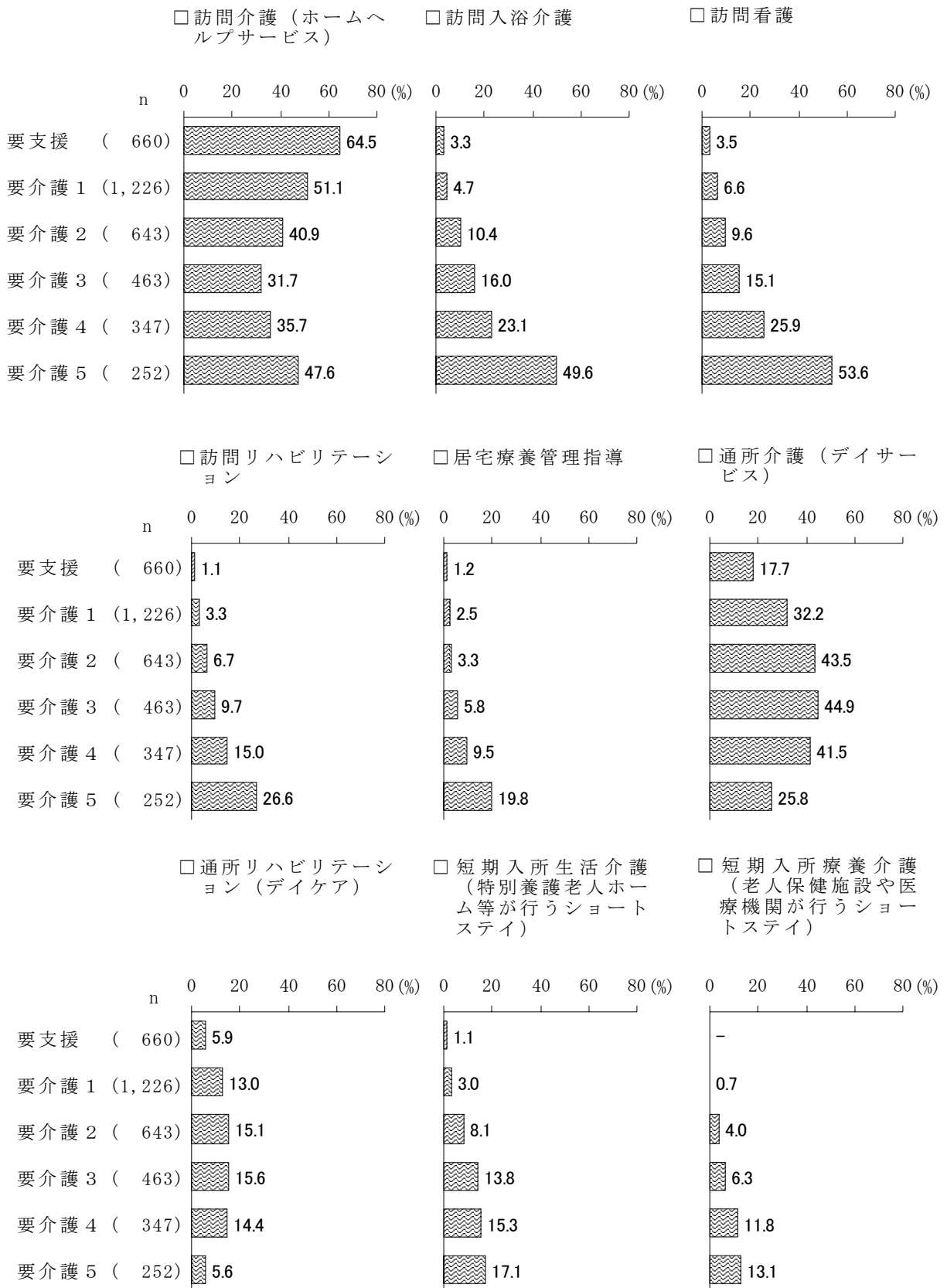
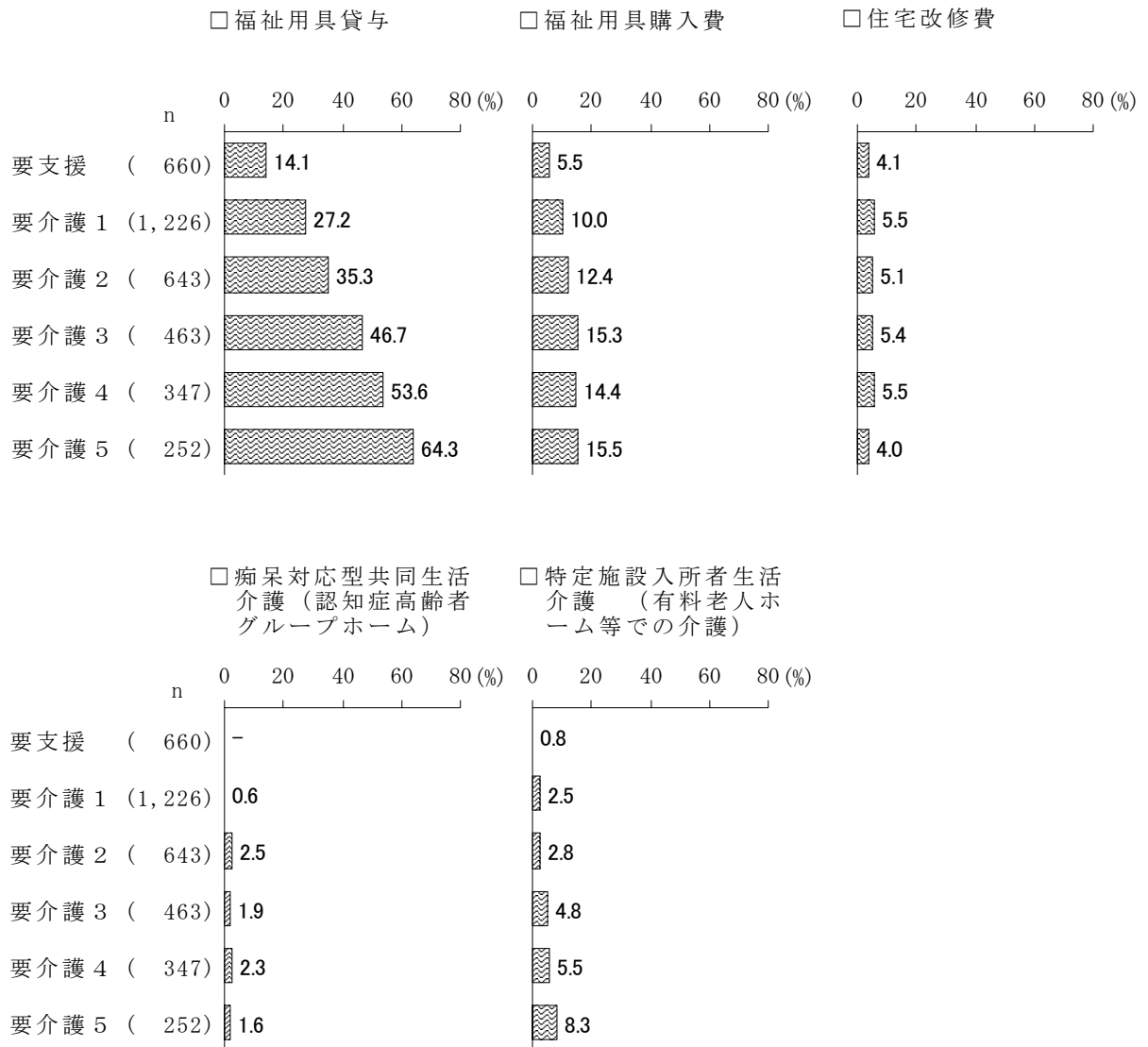


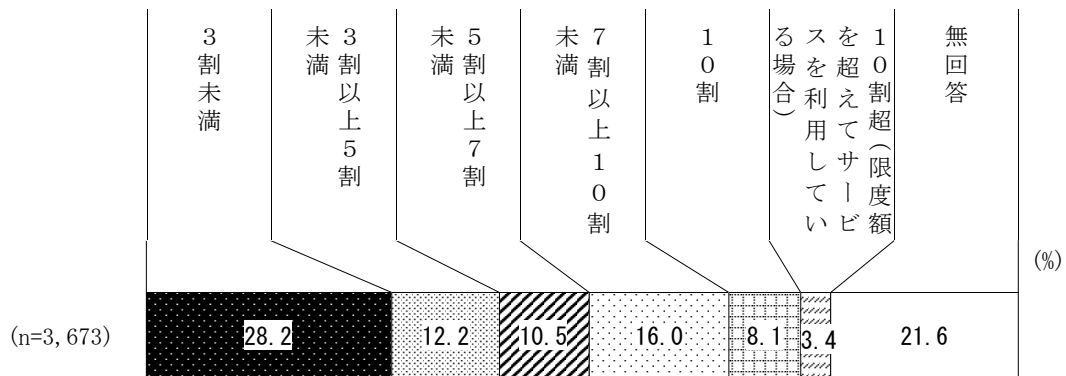
図2-6 要介護度別 介護保険サービスの利用状況（つづき）



2-4 給付限度額からみた介護保険サービスの利用状況

問12 介護保険制度では、要介護度別に給付の限度額がありますが、介護保険サービスをどの程度利用していますか。（〇は1つ）

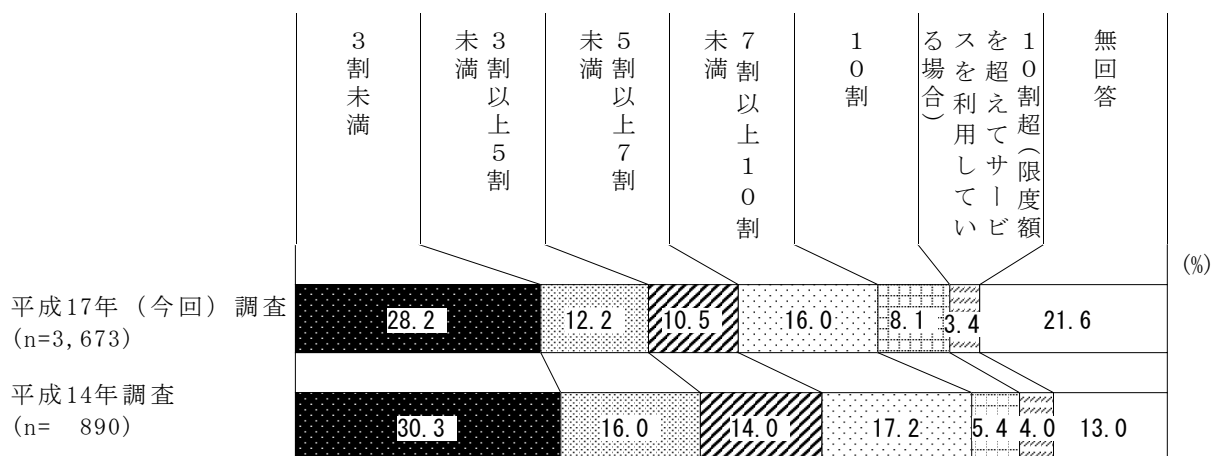
図2-7 給付限度額からみた介護保険サービスの利用状況



給付限度額からみた介護保険サービスの利用状況を見ると、「3割未満」が28.2%、「3割以上5割未満」（12.2%）を合わせると5割未満が40.4%を占めている。一方、「10割」は8.1%、「10割超（限度額を超えてサービスを利用している場合）」は3.4%である（図2-7）。

経年比較でみると、「10割」は前回調査（平成14年調査）から2.7ポイント上昇し、10割未満の項目ではやや減少している（図2-8）。

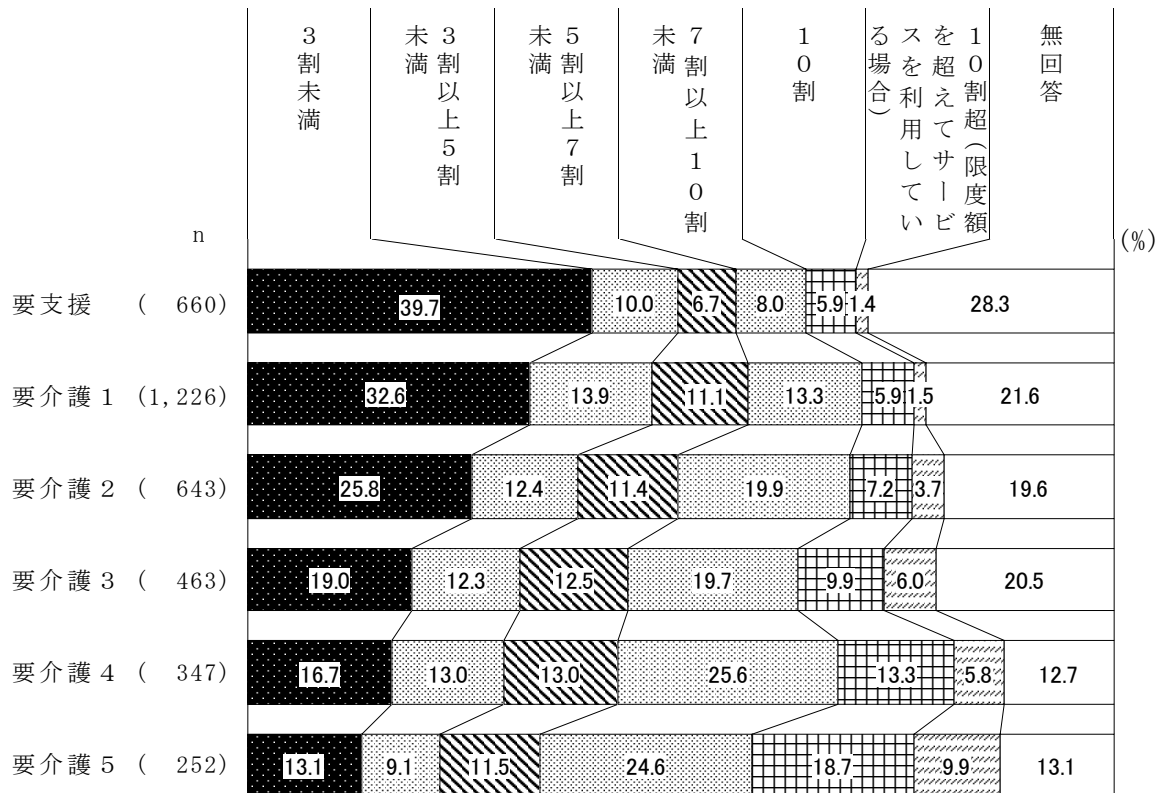
図2-8 経年比較 給付限度額からみた介護保険サービスの利用状況



介護保険要介護（要支援）認定者調査結果

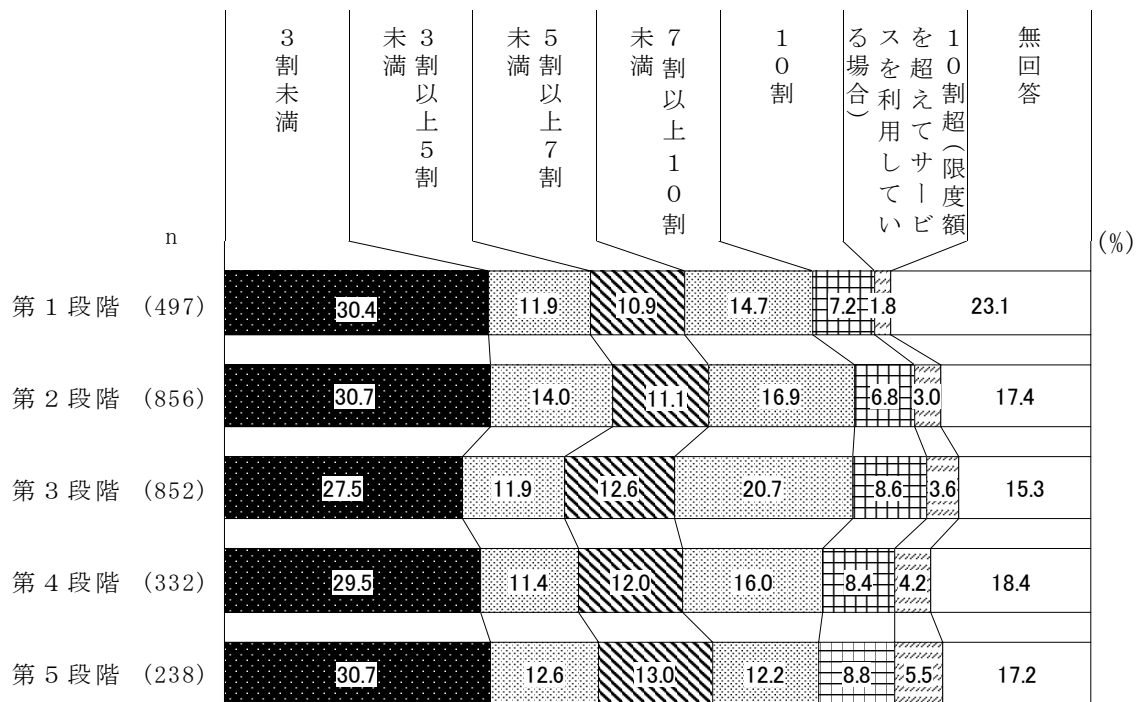
要介護度別で見ると、「3割未満」は要支援の39.7%から、要介護度が高くなるにつれて減少し、要介護5では13.1%となっている。「3割以上5割未満」と「5割以上7割未満」は各介護度で比較的共通だが、「7割以上10割未満」、「10割」は要介護度が高くなるに連れ多くなる傾向が生じている。また、「10割超（限度額を超えてサービスを利用している場合）」は要介護5で1割程度となっている（図2-9）。

図2-9 要介護度別 給付限度額からみた介護保険サービスの利用状況



保険料段階別にみると、すべての段階で「3割未満」が高く、3割前後となっている。第3段階では「7割以上10割未満」が2割となっている。また、「10割超（限度額を超えてサービスを利用している場合）」は段階が進むにつれて増加している（図2-10）。

図2-10 保険料段階別 給付限度額からみた介護保険サービスの利用状況



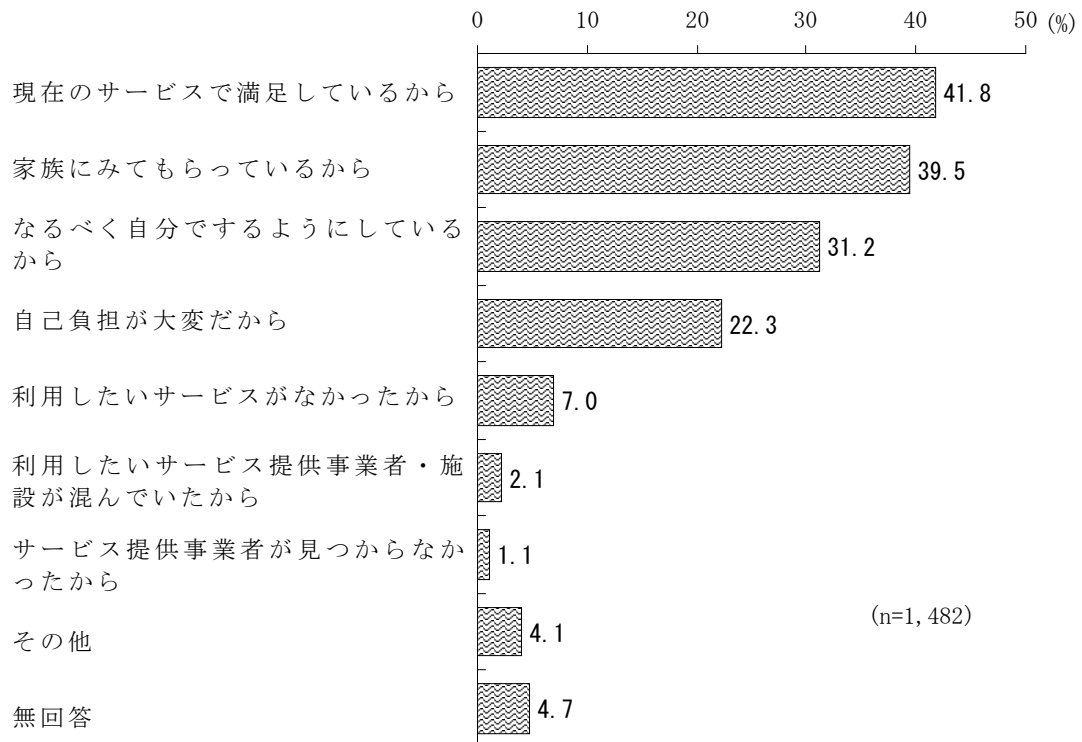
2-5 給付限度額まで利用していない理由

【問12で「3割未満」、または、「3割以上5割未満」を選んだ方におたずねします。】

問12-1 給付限度額まで利用していない理由は何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

図2-11 給付限度額まで利用していない理由



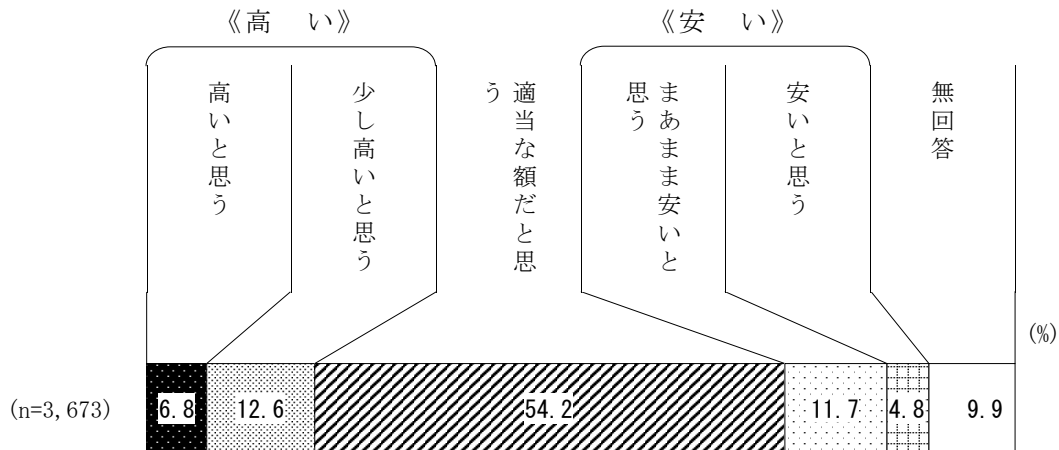
5割未満という人（40.4%）に、限度額まで利用しない理由をきいたところ「現在のサービスで満足しているから」（41.8%）と「家族にみてもらっているから」（39.5%）が約4割を占めて、特に多くなっている。また「なるべく自分でするようにしている」（31.2%）、「自己負担が大変だから」（22.3%）も、比較的多くなっている（図2-11）。



2-6 利用者負担額についての意識

問13 あなたが支払っている利用者負担額（1割負担）についてどのように感じていますか。（○は1つ）

図2-12 利用者負担額についての意識



利用負担額については「高いと思う」は6.8%で、これに「少し高いと思う」(12.6%)を合わせた《高い》は19.4%である。また「適当な金額だと思う」は54.2%と過半数を占めている。

一方、「まあまあ安いと思う」(11.7%)と「安いと思う」(4.8%)を合わせた《安い》は16.5%である(図2-12)。

経年比較では、前回調査(平成14年)と大きな違いはみられない(図2-13)。

図2-13 経年比較 利用者負担額についての意識

